KENWOOD

コンパクトハイファイコンポーネントシステム

R-K801

取扱説明書

お買い上げいただきましして、ありがとうございました。
ご使用の前に、この取扱説明書をお読みのうえ、説明の通り正しくお使いください。
また、取扱説明書は大切に保管して、必要になったときに繰り返してお読みください。
本機は日本国内専用モデルですので、外国で使用することはできません。
使用者の安全のため、必ず『安全上のご注意』をお読みのうえご使用ください。

株式会社 ケンウッド
Kenwood Corporation

B60-5620-00 00 JA (J) KW 0506

安全上のご注意

⚠ このページは、感電や火災からあなたを守るため、ご使用の前に必ずお読みください。

製品を安全にご使用いただくため、「安全上のご注意」をご使用の前によくお読みください。

絵表示について

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為に、いろいろな絵表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。内容を良く理解してから、本文をお読みください。

警告 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△記号は、注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

⃠記号は、禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は、行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

お客様または第三者が、この製品の誤使用・故障・その他の不具合およびこの製品の使用によって受けられた損害につきましては、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

この製品の故障・誤動作・不具合などによって発生した次に掲げる損害などの付随的損害の補償につきましては、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- お客様または第三者がテープ・ディスクなどへ記録された内容の損害
- 録音・再生などお客様または第三者が製品利用の機会を逸したことによる損害

この「安全上のご注意」には、当社のオーディオ機器全般についての内容を記載しています。
（説明項目の中には、操作説明部と重複する内容もあります）

⚠警告

交流100ボルトの電圧で使用する

この機器は、交流100ボルト専用です。指定の電源電圧以外で使用すると、火災・感電の原因となります。

船舶などの直流(DC)電源には接続しない

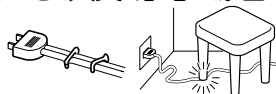
火災の原因となります。

通風孔をふさがない

- あおむけや横倒し、逆さまにして使用しない。
- 布を掛けたり、じゅうたん、布団の上に置いて使用しない。
- 風通しの悪い狭い所で使用しない。

通風孔がふさがると、内部に熱がこもり、火災の原因となります。

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したり、ステープルや釘などで固定したりしない。
電源コードの上に重いものをのせたり、コードを本機の下敷きにしたりしない。
コードを敷物などで覆ってしまうと、気づかずに重いものをのせてしまうことがあります。
コードが傷つき、火災・感電の原因となります。

電源コードが傷ついたら(芯線の露出、断線など)販売店または当社サービス窓口に交換をご依頼ください。
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

風呂、シャワー室では使用しない

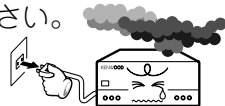
風呂、シャワー室など湿度の高いところや、水はねのある場所では使用しない。
火災・感電の原因となります。

水をかけたりぬらしたりしない

火災・感電の原因となります。
雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

異常が起きた場合は電源プラグを抜く

内部に水や異物が入ったり、煙が出たり、変な臭いや音がしたりした場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く。
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
煙や、異臭、異音が消えたのを確かめてから修理をご依頼ください。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

感電の原因となります。

雷が鳴り始めたらアンテナ線や電源プラグには触れない

感電の原因となります。

⚠ 警告

電源プラグを定期的に清掃する

電源プラグにほこりなどが付着していると、湿気等により絶縁が悪くなり、火災・感電の原因となります。
電源プラグをコンセントから抜いて、乾いた布で取り除いてください。

きれいにしましょう

機器の上に花びんやコップなど水の入った容器を置かない

水がこぼれて中に入ると、火災・感電の原因となります。

機器の内部に水や異物を入れない

機器の通風孔、開口部から内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしない。
火災・感電の原因となります。

機器の上にろうそくやランプなど火のついた物を置かない

本機のカバーやパネルにはプラスチックが使われており、燃え移ると火災の原因となります。

落下した機器は電源プラグを抜く

機器を落としたり、カバーやケースがこわれたりした場合は、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、点検、修理をご依頼ください。
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

電池は乳幼児の手の届かないところに置く

電池をあやまって飲み込むおそれがあります。ボタン電池など小型の電池は特にご注意ください。
万一、お子さまが飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

乾電池は充電しない

電池の破裂、液もれにより、火災・けがの原因となります。

機器のケースを開けたり改造したりしない

内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。
点検、修理は販売店または当社サービス窓口にご依頼ください。

⚠ 注意

カセットテープ、ディスク挿入口に手を入れない

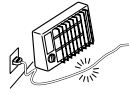
手がはさまれて、けがの原因となることがあります。
特にお子様にはご注意ください。

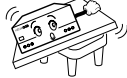
レーザー光源をのぞき込まない

レーザー光が目に当たると、視力障害を起こすことがあります。

⚠注意

電源コードを熱器具に近づけない

電源コードを熱器具(ストーブ、アイロンなど)に近づけない。
コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かない。
落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。

湿気やほこりの多い場所に置かない

油煙や湯気の当たる調理台や加湿器のそば、湿気やほこりの多い場所に置かない。
火災・感電の原因となることがあります。

温度の高い場所に置かない

窓を閉めきった自動車の中や直射日光があたる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しない。
本体や部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。

アンテナ工事は販売店に相談する

工事には、技術と経験が必要です。アンテナは送配電線から離れた場所に設置してください。
アンテナが倒れた場合、感電の原因となることがあります。

電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと発熱したりほこりが付着したりして、火災の原因となることがあります。また、電源プラグの刃に触れると、感電の原因となることがあります。
電源プラグを根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントの場合には、販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。

長期間使用しないときは電源プラグを抜く

旅行などで長期間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。
火災の原因となることがあります。

移動させるときは電源プラグを抜く

移動させるときは、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜き、アンテナ線、接続コードを外す。
コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。

お手入れの際は電源プラグを抜く

お手入れの際は電源プラグをコンセントから抜く。
感電の原因となることがあります。

電源プラグを抜くときは電源コードを引っ張らない

コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。

⚠注意

機器の接続は取扱説明書に従う

関連機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続する。また、接続は指定のコードを使用する。
あやまった接続、指定以外のコードの使用、コードの延長をすると発熱し、やけどの原因となることがあります。

機器の上に重いものや外枠からはみ出るような大きな物を置かない

バランスがくずれて倒れたり、落下したりして、けがの原因となることがあります。

機器に乗らない

機器に乗ったり、ぶら下がったりしない。特にお子様にはご注意ください。
倒れたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。

はじめから音量を上げすぎない

突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。特にヘッドホンをご使用になるときは注意してください。

耳を刺激するような大きな音で長時間続けて聞かない

聴力に悪い影響を与えることがあります。特にヘッドホンをご使用になるときは注意してください。

長時間音が歪んだ状態で使わない

スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。

ひび割れディスクは使わない

ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しない。
ディスクは機器内で高速回転しますので、飛び散って、けがの原因となることがあります。

電池の取り扱いに注意する

次のことを、必ず守ってください。

- 極性表示(プラス"+"とマイナス"-"の向き)に注意し、表示どおりに入れる。
- 指定の電池を使用する。
- 使い切ったときや、長期間使用しないときは、取り出しておく。
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない。
- 違う種類の電池を混ぜて使用しない。
- 電池は、加熱したり、分解したり、火や水の中に入れたりしない。

電池は誤った使い方をすると、破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を破損する原因となることがあります。

電池を入れたままにしておくと、過放電により液がもれ、けがややけどの原因となることがあります。

液がもれた場合は、点検、修理をご依頼ください。万一、もれた液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

⚠定期的に内部の点検、清掃をする

3年に1度程度を目安に、機器内部の点検、清掃をお勧めします。販売店、または最寄りのケンウッドサービス窓口に費用を含めご相談ください。
内部にほこりのたまったまま長い間掃除をしないと、火災や故障の原因となることがあります。

はじめに

取扱説明書の使用方法

本書は、準備編、基本編、応用編、知識編の４つの章に分かれています。
まずはじめに安全上のご注意をよくお読みください。

準備編

お手持ちのオーディオ機器との接続のしかたや各部の名称について説明しています。お手持ちのオーディオ機器によっては接続が複雑になることがあります。取扱説明書をよくお読みのうえ、それぞれの機器に接続してください。

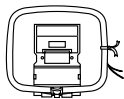
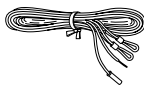
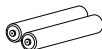
基本編

曲の再生など、基本的な機能の操作方法を説明しています。

応用編

曲の編集など、応用的な機能（便利な機能）の操作方法を説明しています。

知識編

「故障かな？と思ったら」、「定格」など、知っておくと便利な情報を記載してあります。

ステレオ音のエチケット

楽しい音楽も、時と場所によっては気になるものです。隣り近所への配慮を十分いたしましょう。ステレオの音量は、あなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。特に静かな夜間には、小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。窓を閉めたり、ヘッドホンをご利用になるのも一つの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

このシンボルマークのある製品はケンウッドにおいて環境に対する影響を軽減した商品であることをお知らせするマークです。

付属品

AM ループアンテナ（1 個）

FM 室内アンテナ（1 本）

ルームイコライザー用マイク（コード長約 5m : 1 個）

リモコン（1 個）

リモコン用単 4 形乾電池（2 本）

本機の特長

ケンウッド製デジタルオーディオプレーヤーコントロール機能搭載(デジタルオーディオリンク)

ケンウッドのデジタルオーディオプレーヤー＊の基本的な操作を、本体キーおよび本機の付属リモコンにて行うことができます。

＊対応機種：HD20GA7（別売の専用ケーブル（PNC-150）での接続が必要です。）

ルームイコライザー機能

部屋のレイアウトや設置場所に応じて最適な音響空間を自動で構築することができる「ルームイコライザー」機能を搭載しています。従来は、試聴しながらスピーカーや家具などの位置を移動して環境を整えなければならず、時間と手間、専門的な知識が必要とされました。この機能により、実際に物を動かさずに簡単に短時間でお部屋に応じた最適な音響空間を設定することができます。

デジタルサウンドイコライザー機能

DSPでデジタル処理を行うデジタルサウンドイコライザー機能を搭載しています。
これまでの単なる音質調整と比べ、楽しみながら、より自分の好みの音に調整することができます。

CD-R／CD-RW再生対応

音楽CDの再生はもちろん、CD-R(Compact Disc Recordable)(追記型)、CD-RW(Compact Disc Rewritable)(書き換え型）に録音された曲の再生ができます。
*ファイナライズされたディスクのみ再生可能です。ただし、ディスクによっては再生できない場合があります。

便利なタイマー機能

- **タイマー再生機能：**
  タイマー再生（AIタイマー再生）を２系統（**PROG. 1**, **PROG. 2**）設定ができます。（AIタイマーは、タイマー再生開始後、設定したレベルまで徐々に音量が上がります。）
- **スリープタイマー機能：**
  設定時間になると自動的にパワーがオフになります。就寝時など音楽を聞きながらお休みになりたいときに便利です。

目次

⚠ このマークのついた項目は、安全確保のために必ずお読みください。

接続のしかた

システムと付属品の接続

本機と付属品の接続方法です。

⚠ 接続上のご注意

接続が終了するまで、電源コードのプラグをコンセントに差し込まないでください。
接続したコード、ケーブル類を抜くときは、事前に必ず電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

スピーカーの磁気により、テレビやパソコンの画面に色ムラが発生することがあります。その場合は、テレビやパソコンから少し離して置いてください。

⚠ 注意

機器を設置する際には、機器に十分な放熱をさせるために下記のことをお守りください。放熱が十分でないと、内部に熱がこもり、故障や火災の原因となることがあります。

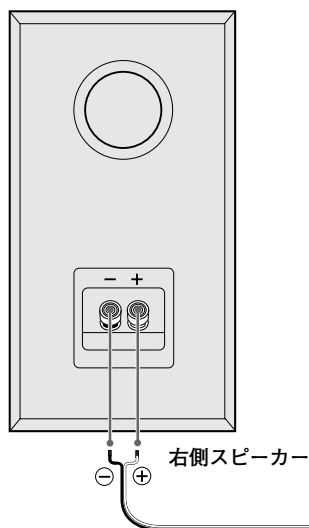
- 機器の上面に、放熱の妨げになるようなものを置かないでください。
- 機器の各面から、下記に示すスペースを空けてください。
  上面：50cm以上　　背面：10cm以上

⚠ 注意

機器は電源コンセントに容易に手が届く位置に設置し、異常が起きた場合すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。

マイコンの誤動作について

正しく接続したのに動作ができなかったり、ディスプレイが誤った表示をする場合は、" 故障かな？と思ったら ..." を参照してマイコンをリセットしてください。 →52

スピーカーの接続

POINT

- スピーカーコードの＋と−は絶対にショートさせないでください。故障の原因になります。
- 極性を間違えて接続しますと、楽器などの位置がはっきりしない、不自然な音になります。
- すべての接続コードは確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと、音が出なくなったり、雑音が発生することがあります。

アンテナを接続しないとAM、FM放送を受信できません。下記にしたがって正しく接続してください。

AMループアンテナ

付属のアンテナは室内用です。本機、TV、スピーカーコード、電源コードからなるべく離れたところで、受信状態の一番よい方向に向けます。

AMアンテナコードの取り付けかた

❶ ❷ ❸

FM室内アンテナ

付属のアンテナは室内用で、一時的に使用するものです。安定した受信のためには、屋外アンテナ（市販）の接続をお勧めします。屋外アンテナを接続したら、簡易アンテナは取り外してください。

❶ アンテナ端子に接続する。
❷ 受信状態のよい位置をさがす。
❸ 固定する。

FM室内アンテナ

AMループアンテナ

AMループアンテナの片側の導線とFM室内アンテナの導線を１本にねじり合わせてから、GND端子に接続してください。

組み立てる

アンテナ

AM GND FM 75Ω

ルームイコライザー用マイク（音声の録音はできません）

電源コード

交流100V、50/60Hzの電源コンセントへ

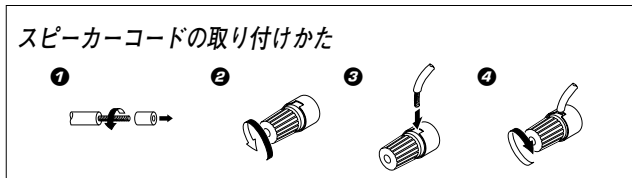
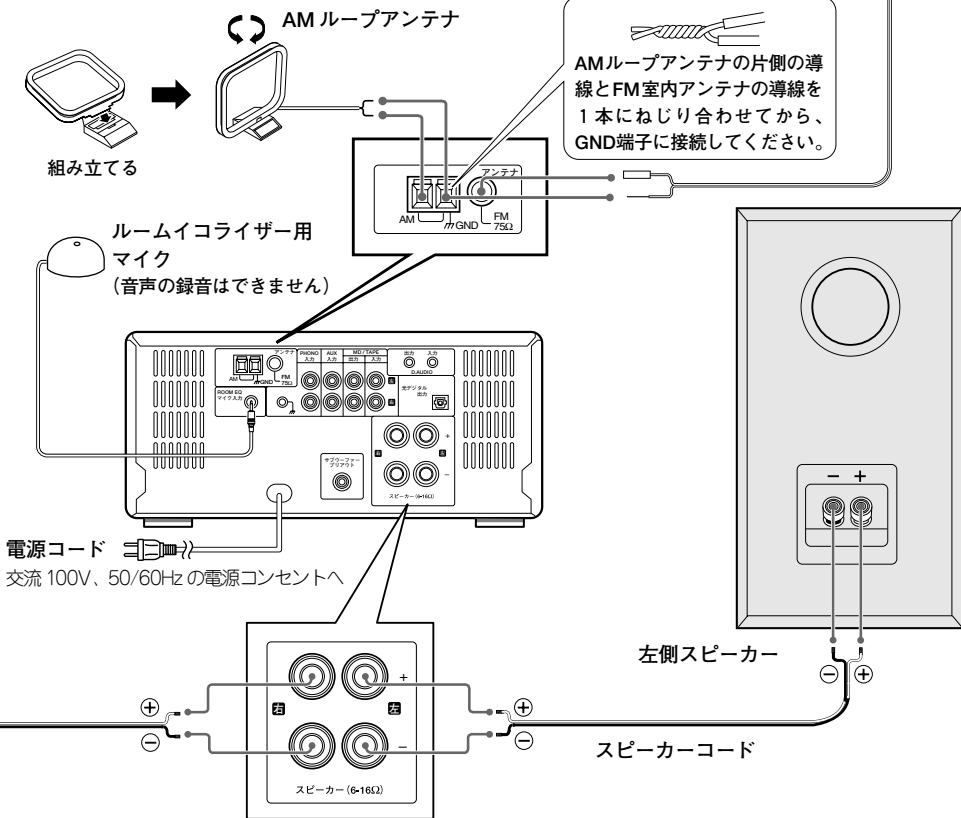
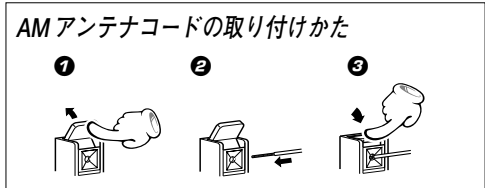
左側スピーカー

スピーカーコード

右 左 + –

スピーカー（6-16Ω）

スピーカーコードの取り付けかた

❶ ❷ ❸ ❹

他の機器（市販品）との接続

⚠ 接続上のご注意

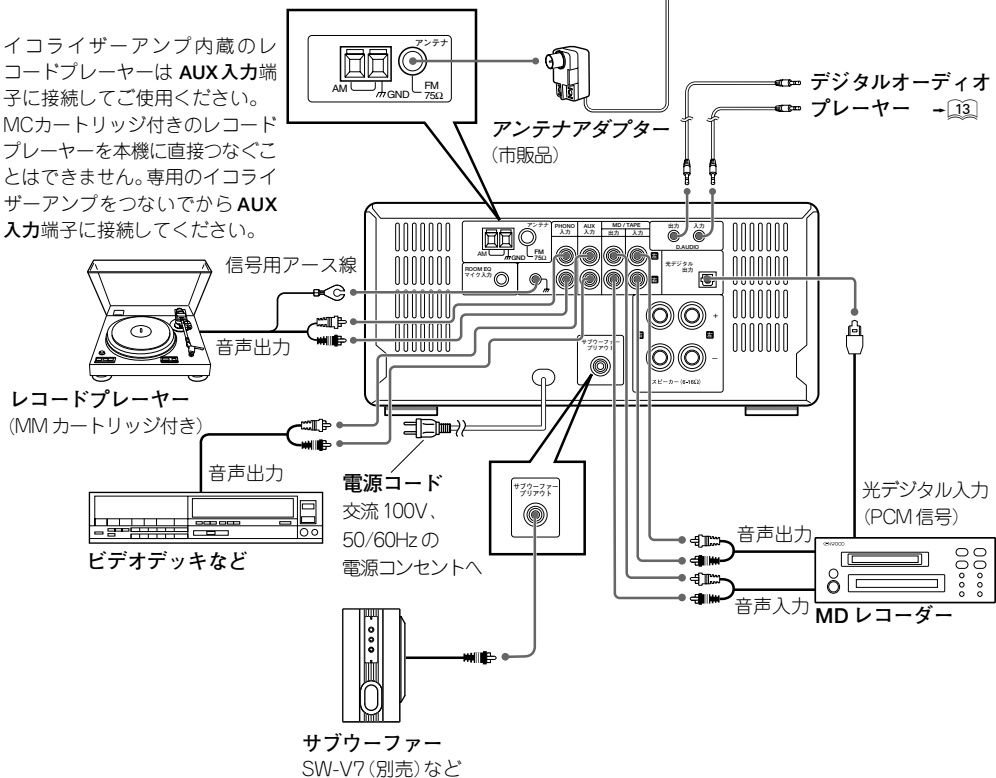
接続が終了するまで、電源コードのプラグをコンセントに差し込まないでください。
接続したコード、ケーブル類を抜くときは、事前に必ず電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

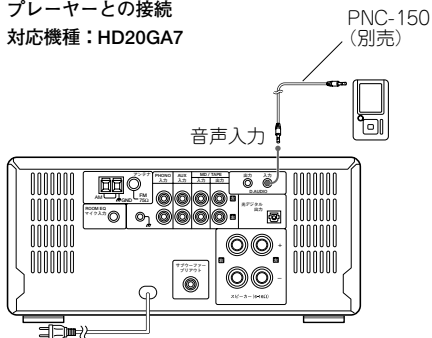
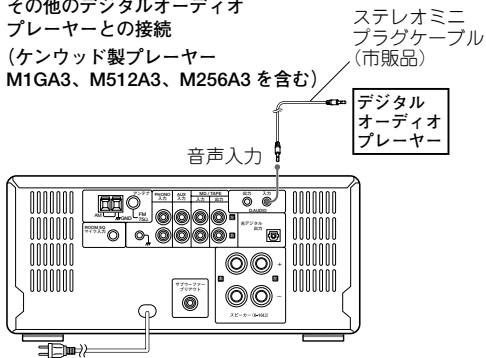
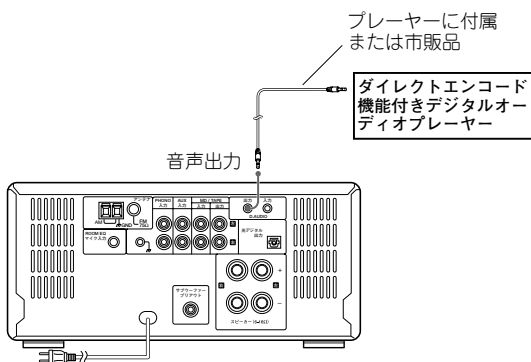
⚠ 屋外アンテナ設置上のご注意

アンテナ工事には、技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。アンテナは送配電線から離れた場所に設置してください。アンテナが倒れた場合、感電の原因になることがあります。

FM屋外アンテナ

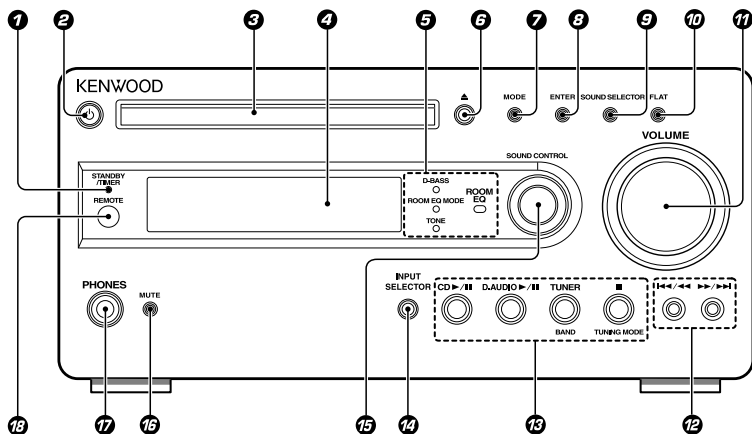
75Ω同軸ケーブルを使って屋内へ引込み、FM75Ω端子に接続します。屋外アンテナを接続したら、簡易アンテナは取り外してください。

- イコライザーアンプ内蔵のレコードプレーヤーは **AUX入力**端子に接続してご使用ください。
- MCカートリッジ付きのレコードプレーヤーを本機に直接つなぐことはできません。専用のイコライザーアンプをつないでから **AUX入力**端子に接続してください。

デジタルオーディオプレーヤーの音を聞く場合

デジタルオーディオリンク対応
プレーヤーとの接続
対応機種：HD20GA7

その他のデジタルオーディオ
プレーヤーとの接続
（ケンウッド製プレーヤー
M1GA3、M512A3、M256A3 を含む）

録音機能付きデジタルオーディオプレーヤーに録音する場合

POINT

- 関連システム機器を接続するときは、関連機器の取扱説明書も、合わせてご覧ください。
- すべての接続コードは確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと、音が出なくなったり、雑音が発生することがあります。
- アース端子（⏚マークの端子）はアナログレコードプレーヤーを設置した場合の雑音の低減をはかるためのものです。安全アースではありません。
- デジタルオーディオプレーヤーとの接続コードは、使い終わったら背面端子（**D.AUDIO 入力／出力**）より抜いてください。

各部のなまえと働き

本体部

❶ **STANDBY/TIMER 表示**

赤色の点灯：通常のスタンバイ状態

緑色の点灯：タイマースタンバイ状態

消灯　：電源オンの状態

点滅の場合は"***故障かな？と思ったら...***"をご覧ください。 → 52

❷ **⏻ キー** → 19

電源のオン／スタンバイを切り換えます。

❸ **CD トレイ**

❹ **ディスプレイ** → 15

❺ **サウンドインジケーター**

D-BASS インジケーター → 23

D-BASS 設定中は点滅、設定されたときは点灯します。

ROOM EQ MODE インジケーター → 22

ROOM EQ モード設定中に点滅します。**WIDE**、**NIGHT** モード選択時は、設定が完了したら点灯します。

TONE インジケーター → 24

TONE 設定中は点滅、設定されたときは点灯します。

ROOM EQ インジケーター → 21

ROOM EQ 設定中は点滅、設定が完了したら点灯します。

❻ **▲（CD トレイ開閉）キー** → 26

CD トレイを開閉します。

❼ **MODE キー**

|◄◄/◄◄ または **►►/►►|** キーの機能をメニュー選択モードへ切り換えます。もう一度押すと、**|◄◄/◄◄** または **►►/►►|** キーの機能が通常モードへ戻ります。

機能メニューは以下のとおりです。

INPUT LEVEL → 34 → 36

（入力切換が CD、チューナー以外のときのみ）

BALANCE → 20

ケンメイセッテイ → 30

（入力切換がチューナーのときのみ）

DIMMER SET → 48

LEVEL METER → 49

A.P.S. SET → 49

TIME ADJUST → 18

TIMER SET → 44

SOUND PRESET → 25

ROOM EQ → 21

- 選ばれているソースによって表示されないメニューがあります。

❽ **ENTER キー**

MODE 操作中のとき：選択項目の確定に使います。

放送受信のとき：プリセットメモリー確定などに使います。 → 33

❾ **SOUND SELECTOR キー**

サウンド設定モードの切り換えに使います。

- キーを押すと以下のように切り換わります。

"D-BASS" → 23

"ROOM EQ MODE" → 22

"BASS" → 23

"TREBLE" → 23

サウンド設定モード OFF

❿ **FLAT キー** → 25

デジタルサウンドイコライザー機能をオフにします。

⓫ VOLUME つまみ →20

右に回すと音量が上がり、左に回すと音量が下がります。

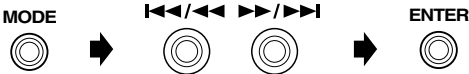
⓬ ⏮/◀◀、▶▶/⏭（マルチコントロール）キー

通常は以下のときに使います。

– CDやD.AUDIOの曲の飛び越し、早送り、早戻し →27 →35 →36

– プリセット放送局を選ぶ →29

MODEキーを押してメニューモードにし、好みの項目を選ぶときに使います。**ENTER**キーを使って確定します。

MODE ⏮/◀◀ ▶▶/⏭ ENTER

- メニューモード時に20秒以上操作しないと ⏮/◀◀ または ▶▶/⏭ キーは通常モードに戻ります。

⓭ 基本操作キー

CD ▶/❚❚ キー →26

入力をCDプレーヤーに切り換え、再生を開始します。CD再生中に押すと一時停止をします。

D.AUDIO ▶/❚❚ キー →35

入力をD.AUDIOに切り換えます。ケンウッド製デジタルオーディオプレーヤーを操作するときに使います。

TUNER / BAND キー →29

入力をチューナーに切り換えます。

放送バンドを切り換えます。

■ (STOP)/TUNING MODE キー

CDのとき： →27

ディスクの操作を停止するときに使います。

D.AUDIOのとき： →35

デジタルオーディオプレーヤーを一時停止するときに使います。

チューナーのとき： →32

AUTO（オート選局、ステレオ受信）とMONO（マニュアル選局、モノラル受信）の切り換えを行います。

スタンバイ状態のとき： →18

表示部に時計を表示します。

⓮ INPUT SELETOR キー →19

入力ソース(PHONO、MD/TAPE、AUX)を選択します。

⓯ SOUND CONTROL つまみ →22

SOUND SELECTORで選択された**SOUND**モードの調整を行います。

⓰ MUTE キー →20

一時的に音を消したいときに使います。

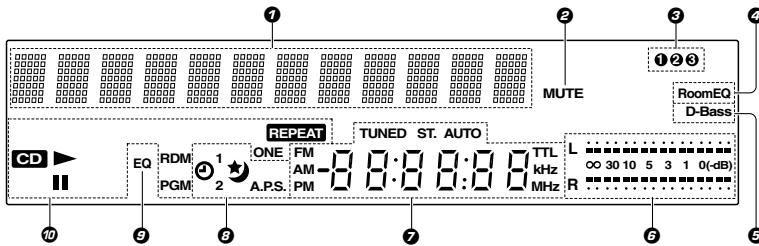
⓱ ヘッドホン端子 →20

ステレオミニプラグのヘッドホン(別売)を接続します。

⓲ リモコン受光部 →17

リモコンからの信号を受信します。

準備編

表示部

❶ 数字および文字情報表示

❷ MUTE表示 →20

❸ SOUND PRESETメモリー表示 →25

❹ Room EQ表示 →21

❺ D-Bass表示 →23

❻ レベルメーター →49

❼ 時計、時間、周波数表示

❽ タイマー関連表示 →43 →49

❾ EQ表示 →24

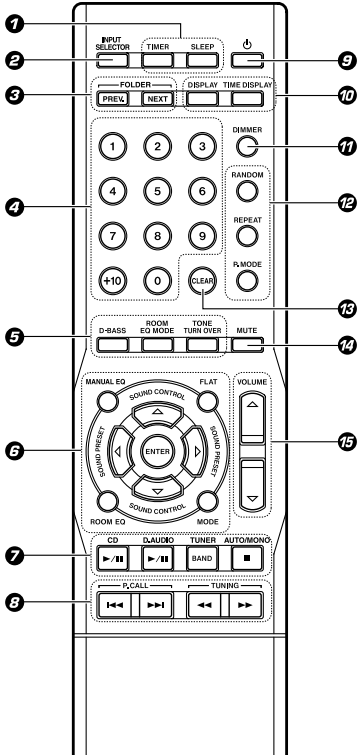
❿ CD関連表示 →26

スタンバイ状態について

本機のスタンバイインジケーターが点灯中は、メモリー保護のため、微弱な通電を行っています。これをスタンバイ状態といいます。このとき、リモコンで本機をオンできます。

リモコンの使いかた

本体部と同じ名前のキーは、本体部と同じ働きをします。

❶ **TIMER（タイマー）キー** →47

プログラムタイマーの実行モードを設定するときに使います。

SLEEP（スリープ）キー →43

おやすみタイマーを設定するときに使います。

❷ **INPUT SELECTOR（インプット セレクター）キー** →19

入力ソース(PHONO（フォノ）、MD/TAPE（テープ）、AUX)を選択します。

❸ **FOLDER (PREV./NEXT)（フォルダー プレビアス ネクスト）キー** →36

ケンウッド製デジタルオーディオプレーヤーのデータを選ぶときに使います。

❹ **数字キー** →27 →33

CD の曲を選ぶときや、TUNER（チューナー）のプリセットコールキーとして使います。

❺ **サウンド設定モードキー**

3種類のデジタルサウンドイコライザーモードを選ぶことができます。

D-BASS（バス）キー →23

ROOM EQ MODE（ルーム モード）キー →22

TONE TURN OVER（トーン ターン オーバー）キー →23

❻ **MANUAL EQ（マニュアル）キー** →24

マニュアルイコライザーの調整モードに切り換えます。

FLAT（フラット）キー →25

デジタルサウンドイコライザー機能をオフにします。

SOUND PRESET（サウンド プリセット） (◁/▷) キー →23

プリセットされたサウンドを呼び出したり、調整したいイコライザーの周波数バンドを選びます。

SOUND CONTROL（サウンド コントロール） (△/▽) キー →22

サウンドコントロールのレベルを調節します。

ENTER（エンター）キー →33

チューナーのプリセットメモリーの確定に使います。

ROOM EQ（ルーム）キー →21

セッティングした場所で最適な音場を自動設定します。

MODE（モード）キー

各種機能設定の選択モードに切り換えます。

❼ **基本操作キー**

CD ▶/❚❚ キー →26

D.AUDIO（デジタルオーディオ） ▶/❚❚ キー →35

TUNER/ BAND（チューナー バンド）キー →29

AUTO/MONO ■ (STOP)（オート モノラル ストップ）キー

→18 →27 →32 →35

❽ **P.CALL（コール） (|◀◀ / ▶▶|) キー**

CD のとき： →27

スキップ(曲の飛び越し)に使います。

D.AUDIO（デジタルオーディオ）のとき： →35 →36

スキップ(曲の飛び越し)、早送り、早戻しに使います。

チューナーのとき： →29

記憶させた放送局を受信するときに使います。

TUNING（チューニング） (◀◀ / ▶▶) キー

CD のとき： →27

早送り、早戻しに使います。

チューナーのとき： →32

放送局の選択に使います。

❾ **⏻ キー** →19

電源のオン／スタンバイを切り換えます。

⑩ DISPLAY キー →28

曜日、時計を表示します。

TIME DISPLAY キー →28

CD の時間表示を切り換えるときに使います。

⑪ DIMMER キー →48

表示部の輝度調整やキーイルミネーションの ON ／ OFF を切り換えます。

⑫ RANDOM キー →42

曲順を順不同に再生します。

REPEAT キー →41

繰り返し再生するときに使います。

P.MODE キー →39

トラックモードとプログラムモードを切り換えるときに使います。

⑬ CLEAR キー

プログラムした曲を取り消します。 →40

プリセットした放送局を消去するときに使います。 →33

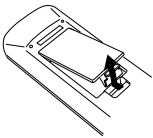
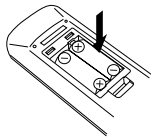
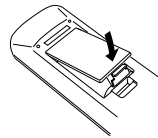
⑭ MUTE キー →20

一時的に音を消したいときに使います。

⑮ VOLUME (△ / ▽) キー →20

音量を調節するときに使います。

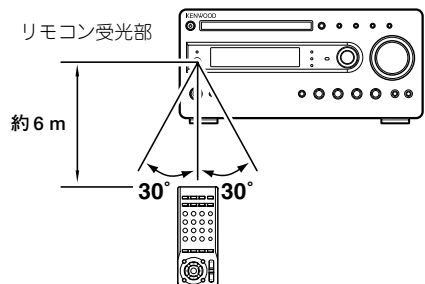
電池の入れかた

❶ カバーを開く

❷ 電池を入れる

❸ カバーを閉める

- 単４形乾電池２本を極性マークに従って入れる。

操作のしかた

本体の電源プラグをコンセントに差し込み、リモコンの ⏻ キーを押すと電源がオンになります。電源がオンになったら、操作したいキーを押します。

- リモコンの各操作キーを押してから次のキーを押すときは、約1秒以上の間隔をあけて確実に押してください。

操作範囲のめやす

POINT

- 付属の乾電池は動作チェック用のため、寿命が短いことがありますのでご了承ください。
- 操作できる距離が短くなったら、２本とも新しい電池と交換してください。
- リモコン受光部に直射日光や高周波点灯（インバーター方式等）の蛍光灯の光が当ると、正しく動作しないことがあります。このような場合、誤動作を避けるために設置場所を変えてください。

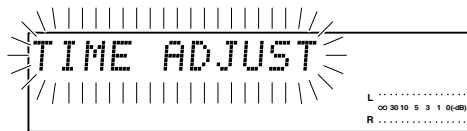
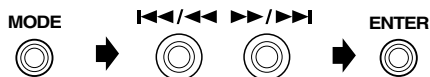
時刻合わせ

タイマーを使うときに必要となるので、あらかじめ時刻合わせを済ませておいてください。

⏻キーを押して電源をオンにする。

1 時刻合わせモードにする

MODE（モード）キーを押し ⏮ または ⏭ キーで "TIME ADJUST"（タイム アジャスト）を選び、ENTER（エンター）キーを押す

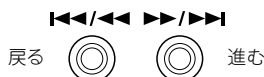
MODE ➡ ⏮/◀◀ ▶▶/⏭ ➡ ENTER

- 曜日表示部が点滅を始めます。

2 "曜日"を合わせる

❶ ⏮または⏭ キーを押して"曜日"を合わせる

⏮/◀◀ ▶▶/⏭

戻る   進む

❷ ENTER（エンター）キーを押して確定する

ENTER

月曜日、午前8時7分に合わせる例

- ENTER（エンター）キーを押すと"曜日"が設定されて、"時"表示が点滅します。

3 "時"を合わせる

❶ ⏮ または ⏭ キーを押して"時"を合わせる

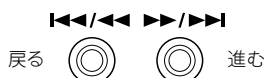
⏮/◀◀ ▶▶/⏭

戻る   進む

❷ ENTER（エンター）キーを押して確定する

ENTER

月曜日、午前8時7分に合わせる例

MONDAY
AM 8:00

- ENTER（エンター）キーを押すと"時"が設定されて、"分"表示が点滅します。

4 "分"を合わせる

❶ ⏮ または ⏭ キーを押して"分"を合わせる

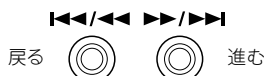
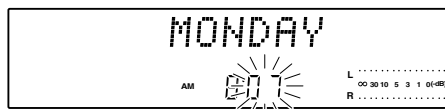
⏮/◀◀ ▶▶/⏭

戻る   進む

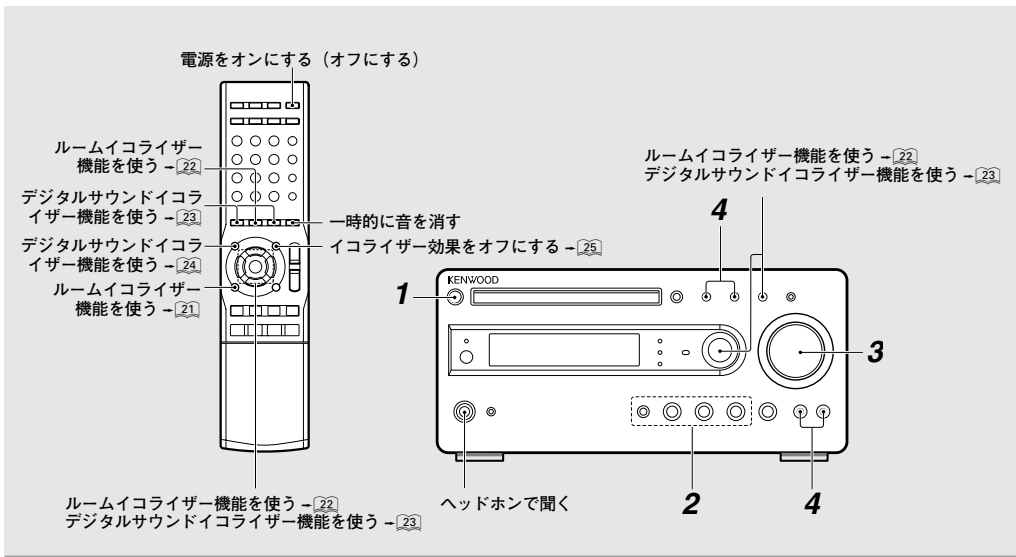
❷ ENTER（エンター）キーを押して確定する

ENTER

月曜日、午前8時7分に合わせる例

MONDAY
AM 8:07

- 間違えたときは、はじめからやり直してください。
- ENTER（エンター）キーを押して、設定が終了すると"COMPLETE"（コンプリート）と表示します。
- 停電があったり,電源プラグをコンセントに入れ直したときは、もう一度時刻合わせをしてください。
- 電源がスタンバイ状態のとき、■(STOP（ストップ）) キーを押すと8秒間時刻を表示します。

基本的な使いかた

基本編

1. 電源をオンにする（オフにする）

電源がオンのときに (POWER)キーを押すとオフ（スタンバイ）になります

- CD ►/II、D.AUDIO ►/II、TUNER/BAND または INPUT SELECTOR キーを押しても、電源がオンになり、再生（受信）します。
- CD を選んだとき、すでにディスクが入っている場合は、再生が始まります。

2. 聴きたいソース（音源）を選ぶ

例：CDを選ぶ時

CD ►/II

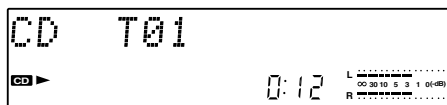
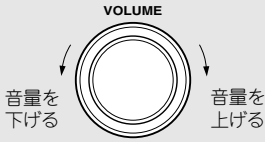
CD → 26
D.AUDIO * → 35
TUNER（ラジオ） → 29
PHONO、MD/TAPE、AUX（外部入力）* → 34
* インプットレベルを調整するには → 34 → 36

- CD ►/II、D.AUDIO ►/II、TUNER/BAND キーを押すとその入力に切り換わります。また、外部入力は INPUT SELECTOR キーを押してそれぞれの入力に切り換えます。PHONO、MD/TAPE、AUX の順に切り替わります。

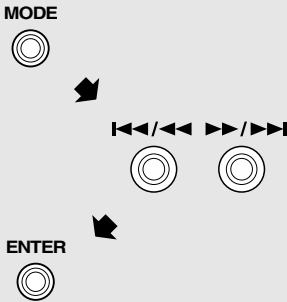
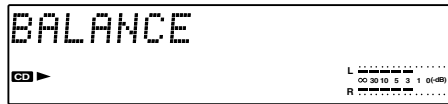
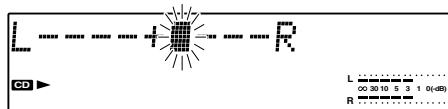
例：外部入力を選ぶ時

INPUT SELECTOR

CD を選んだとき

次ページに続く

3. 音量を調節する

● 表示部に目安の数字が表示されます。

4. バランス（左右の音量）を調整する

❶ MODE（モード）キーを押し ⏮ または ⏭ キーで "BALANCE（バランス）" を選び、ENTER（エンター）キーを押す

❷ ⏮ または ⏭ キーを押して好みのバランスを調整し、ENTER（エンター）キーを押す

ヘッドホンで聞く

ヘッドホンのプラグをヘッドホン 端子に差し込む

- ステレオミニプラグ付きのヘッドホンを使用します。
- 端子にプラグを差し込むとスピーカーから音が出なくなります。

一時的に音を消す（MUTE（ミュート））

MUTE

- もう一度押すと、元の音量に戻ります。
- 音量を操作したときも解除されます。

ルームイコライザー機能を使う

スピーカーより出力されるテスト信号を付属のマイクで測定し、部屋の広さやステレオの設置場所に合わせた最適な音響空間を作ります。D-BASS（→23）、TONE/TURN OVER（→23）、MANUAL EQ（→24）と効果を重ね合わせることができます。

測定中はスピーカーより大きなテスト信号が出力されます。特に夜間には近隣やお子さまに十分配慮してください。

部屋の音響特性を測定する（ROOM EQ）

以下の調整を自動で設定します。

1. スピーカーからの音の遅延
2. 左右のスピーカーからの音量レベルの差
3. スピーカーの周波数特性および室内の音響特性

❶ 付属のマイクを本機背面の ROOM EQ マイク入力端子に接続する "接続のしかた" →11

❷ マイクの本体部をリスニングポジション（耳の高さ）に置く

❸ MODE キーを押し |◀◀ または ▶▶| キーで "ROOM EQ" を選び、ENTER キーを押す。またはリモコンの ROOM EQ キーを押す

MODE

|◀◀/◀◀ ▶▶/▶▶|

ENTER

または

ROOM EQ

❹ |◀◀ または ▶▶| キーを押して "R. EQ START" を選び、ENTER キーを押す

|◀◀/◀◀ ▶▶/▶▶|

ENTER

押すたびに切り換わります。

"R.EQ START"	:	測定を開始します
"R.EQ OFF"	:	設定されている特性を一時的に解除します
"R.EQ CALL"	:	設定されている特性を呼び出します

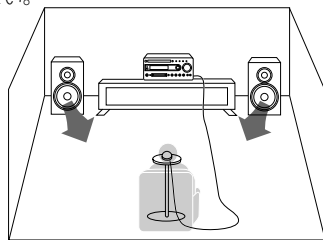
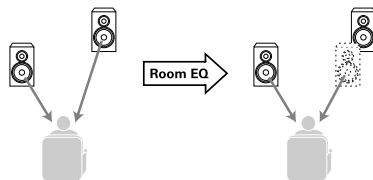
- 測定が完了するまでに約1分間かかります。
- ROOM EQ 用マイクが接続されていないとき、あるいはヘッドホンが接続されていると "CAN'T SETUP" と表示され、測定できません。
- 測定終了後、必ずマイクを本体から外してください。
- 使用環境により効果がはっきりと表れない場合があります。

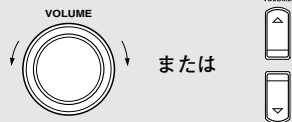
測定中と測定完了時の表示

測定中は本体の ROOM EQ インジケーターが点滅し、測定が完了すると本体の ROOM EQ インジケーターと表示部の "RoomEQ" 表示が点灯します。

R.EQ SETUP

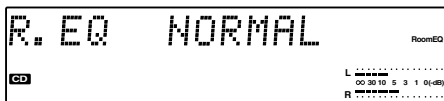
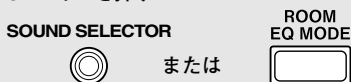
測定のイメージ

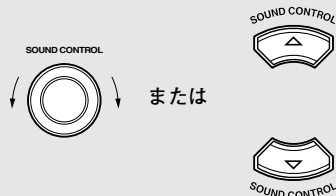
マイクは耳の位置に置いてください。
スピーカーとマイクの間には障害物を置かないでください。

ルームイコライザー機能の効果のイメージ

測定を中断するには

本体の VOLUME つまみを回すか、リモコンの VOLUME △/▽ キーを押す

- 本体とリモコンの MODE キーおよびリモコンの ROOM EQ キーを押し、"R.EQ CANCEL?" と表示されてから、ENTER キーを押しても測定を中断し、開始前の状態に戻ります。

ROOM EQ の特性を状況にあわせて変える（ROOM EQ MODE）

" 部屋の音響特性を測定する "→21 をあらかじめ行ってください。測定した音響特性に従い、さらに効果を変えてルームイコライザー機能をお楽しみいただけます。

❶ SOUND SELECTOR キーを押して ROOM EQ MODE を選ぶ。または、リモコンの ROOM EQ MODE キーを押す

SOUND SELECTOR　　または　　ROOM EQ MODE

❷ SOUND CONTROL つまみ、または SOUND CONTROL △ または ▽ キーでモードを選ぶ

押すたびに切り換わります。

"NORMAL"：ROOM EQ で測定された結果を忠実に再現するモードです。通常はこのモードを使用してください。

"WIDE"：測定したポジションを中心に、比較的広い範囲で違和感なく音楽をお楽しみいただけるモードです。ホームパーティー等、お部屋の中を動き回りながらお聞きいただく際に便利です。

"NIGHT"：深夜など、小音量で音楽をお楽しみいただく際に便利なモードです。ボーカル等のメロディー帯域を中心とした調整となるので、小音量でも比較的お聞きになりやすい音場設定ができます。

- **ROOM EQ** の測定前は、**ROOM EQ MODE** は働きません。

- **SOUND CONTROL** つまみ、または **SOUND CONTROL** △／▽ キーでモードを選択中は、本体の **ROOM EQ MODE** インジケーターが点滅します。
- **"WIDE"**、**"NIGHT"** を選択すると、設定完了後 **ROOM EQ MODE** インジケーターが点灯します。
- 各モードとも20秒後に元のディスプレイ表示に戻ります。

デジタルサウンドイコライザー機能を使う

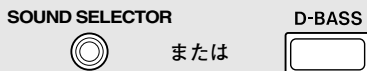
本機は DSP でデジタル処理を行うデジタルサウンドイコライザー機能を搭載しています。
詳細な設定ができるため、より自分の好みに音を調整することができます

重低音を楽しむ（D-BASS）

お好みに合わせて、重低音効果を変えてお楽しみいただけます。ROOM EQ（→21）、TONE/TURN OVER（→23）、MANUAL EQ（→24）と効果を重ね合わせることができます。

❶ SOUND SELECTORキーを押してD-BASSを選ぶ。または、リモコンの D-BASS キーを押す

SOUND SELECTOR　　D-BASS

または

- 本体の D-BASS インジケーターが点滅します。

❷ SOUND CONTROL つまみ、または SOUND CONTROL △ または ▽ キーでレベルを調整する

本体

SOUND CONTROL
つまみを回す

- サウンド設定モード OFF 時に SOUND CONTROL つまみを回すだけで D-BASS 設定に入ることができます。

リモコン

SOUND CONTROL
△または▽キーを押す

- 0 から 10 までの範囲でレベルを調整できます。
- 20 秒後に元の表示に戻ります。
- 設定完了後、本体の D-BASS インジケーターが点灯します。（レベル 1 以上のとき）

D-Bass表示が点灯

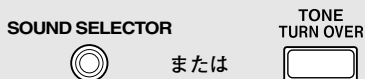
D-Bassのレベルを表示

TONE / TURN OVER の設定

お好みに合わせて、低音部と高音部の調整ができます (TONE)。さらに低音部と高音部の特性を3段階にきめ細かく調整できます (TURN OVER)。ROOM EQ（→21）、D-BASS（→23）、MANUAL EQ（→24）と効果を重ね合わせることができます。

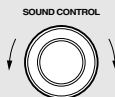
❶ SOUND SELECTOR キーを押して BASS を選ぶ。または、リモコンのTONE TURN OVERキーを押す

SOUND SELECTOR　　TONE TURN OVER

または

❷ SOUND PRESET ◁または▷キーを押して低音部（BASS）の周波数（Low: 100Hz、Mid:150Hz、High: 200Hz）を選ぶ

❸ SOUND CONTROL つまみ、または SOUND CONTROL △または▽で低音部（BASS）のレベルを調整する

本体

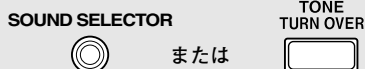
SOUND CONTROL
つまみを回す

リモコン

SOUND CONTROL
△または▽キーを押す

❹ ❷と❸を繰り返して好みの低音に調整する

❺ SOUND SELECTOR キーを押して TREBLE を選ぶ。または、リモコンのTONE TURN OVERキーを押す

SOUND SELECTOR　　TONE TURN OVER

または

次ページに続く

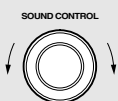
❻ SOUND PRESET ◁または▷キーを押して高音部(TREBLE)の周波数(Low: 5kHz、Mid: 7kHz、High: 10kHz) を選ぶ

❼ SOUND CONTROLつまみ、またはSOUND △またはキーで高音部(TREBLE) のレベルを調整する

本体

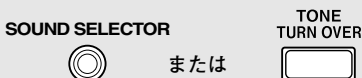
SOUND CONTROL
つまみを回す

リモコン

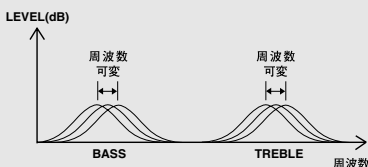
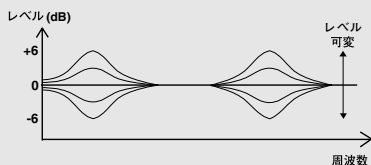
SOUND CONTROL
△または▽キーを押す

❽ ❻と❼を繰り返して好みの高音に調整する

❾ SOUND SELECTOR キーまたは、リモコンのTONE TURN OVER キーを押す

SOUND SELECTOR

または

TONE
TURN OVER

- -6(dB)から+6(dB)まで1(dB)ステップでレベルを調整できます。
- 各モードとも、20秒後に元のディスプレイ表示に戻ります。
- 設定完了後、本体のTONEインジケーターが点灯します。(レベル0以外のとき)

周波数可変のイメージ (TURN OVER 設定)

レベル調整のイメージ

好みの音質を作る(MANUAL EQ)

本格的な7バンドのイコライザーを搭載していますので、重低音域から超高音域まで (→25) ある周波数を中心とした音域のカーブが、自由に作れます。ROOM EQ (→21)、D-BASS (→23)、TONE/TURN OVER (→23) と効果を重ね合わせることができます。

❶ リモコンの MANUAL EQ キーを押す

MANUAL EQ

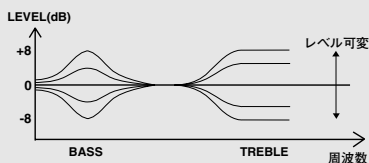
- イコライザーカーブ、レベルおよび周波数が表示され、"EQ" が点滅します。

❷ SOUND PRESET ◁または▷キーを押して、設定したいイコライザーのバンド(周波数)を選ぶ

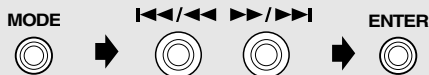
- 選ばれたバンドのイコライザーが点滅します。
- 7種類のバンドから選ぶことができます。

❸ SOUND CONTROL △または▽キーを押して、設定したいイコライザーのレベルを設定する

- -8(dB)から+8(dB)まで1(dB)ステップで調整できます。
- もう一度 MANUAL EQ キーを押すか、20秒以上キーの操作がないと、マニュアル設定モードを解除します。

レベル調整のイメージ

作り出した音を記憶させる

❶ MODE キーを押し ⏮ または ⏭ キーで "SOUND PRESET" を選び、ENTERキーを押す

MODE　⏮/◀◀　▶▶/⏭　ENTER

- サウンドプリセット表示部の "❶"、"❷"、"❸" が点滅します。
- 数字および文字情報表示部には "PRESET" と "1"、"2"、"3" と表示されます。
- 音のパターンはサウンドの種類によらず全部で 1 から 3 までの 3 個がプリセットできます。
- ルームイコライザーの設定も記憶されます。

❷ ⏮ または ⏭キーを押して記憶させたいメモリーを1から3のうちから選び、ENTERキーを押す

⏮/◀◀　▶▶/⏭　ENTER

- プリセット表示部に選択されたメモリーの番号が点灯します。

記憶させた音のパターンを呼び出す

リモコンのみ

SOUND PRESET ◁ または ▷ キーを押す

- "SOUND PRESET" と "❶" が表示されます。
- 出荷時はフラットに設定されています。
- 3 秒後に元のディスプレイ表示に戻ります。

イコライザー効果をオフにする（FLAT）

FLAT キーを押す

FLAT

- もう一度押すと元の設定に戻ります。

基本編

音質調整について

重低音域の調整 (バンド 1：63Hz)
これらのレベルコントロールを上昇させると、ベースやバスドラムのような低音域の楽器がどっしりした安定感のある音として再生されます。また、重低音域が響きすぎると感じられるときには、適当と思われるところまで下降させます。

低音域の調整(バンド 2：160Hz)
日本の建築様式では欧米の家屋に比べ密閉度が低いため、リスニングルームの共振点がこの周波数帯にあり、低音が出過ぎる感じになりやすいものです。したがって、リスニングルームの共振を防ぐためにこの低音域を下降させることが多いようです。

中低音域の調整 (バンド 3：400Hz)
音楽の基礎となるこの音域の音は、やせているとか、豊かだと感じられるところです。もの足りない音だと思われるときには、このレベルをわずかに上昇させると、豊かな感じの音になります。

中音域の調整 (バンド 4：1kHz)
この中音域を調整すると、ボーカルが入っている曲では歌手の声が前に出たり、奥にひっこむような感じになり、臨場感に大きな影響を与えます。音の奥行と深みに関係する帯域です。

中高音域の調整 (バンド 5：2.5kHz)
この周波数帯域は、刺激の強い、金属的で硬い音として感じられるところです。うまく調整すれば、爽快さや明るさがでてきますが、反面うるさい感じになることもあります。

高音域の調整 (バンド 6：6.3kHz)
この周波数帯域は、硬い感じ、柔らかい感じなど、音楽のイメージに影響を与えるところです。上昇させると弦楽器（バイオリンなど）や、管楽器（フルート、ピッコロなど）が張りのある音になり、下降させるとおとなしい感じの音になります。

超高音域の調整 (バンド 7：16kHz)
この周波数帯域は、音の広がりや繊細感に影響を与えるところです。上昇させると超高音域の楽器(トライアングル、シンバルなど)が快く響き、音の広がりや繊細感が増します。

CD を聞く

CD トレイにあらかじめディスクを入れておくと CD ►/❚❚ キーを押すだけで自動的に電源がオンになり、再生が始まります。

好きな曲から聞く

再生を始める／一時停止する

曲を飛び越す

再生を止める

早送り・早戻しする

1

KENWOOD

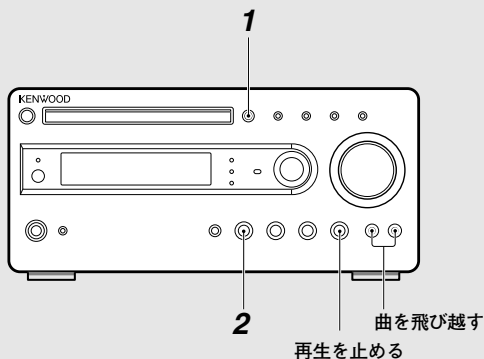
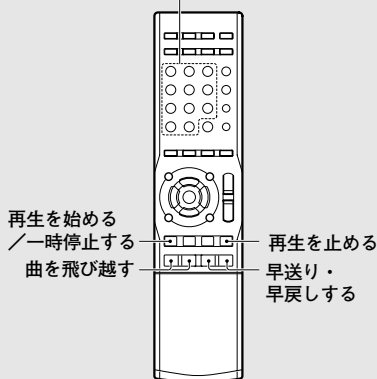
2

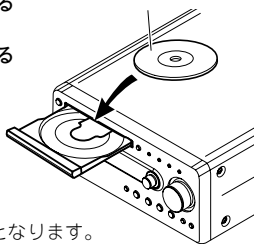
再生を止める

曲を飛び越す

基本編

1. ディスクを入れる

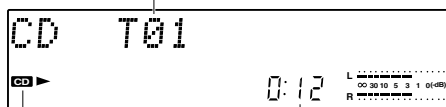
⏏

❶ ⏏ キーを押して CD トレイを開ける
❷ ディスクをトレイにのせる
❸ ⏏ キーを押して CD トレイを閉める

ラベル面を上にする

- 再生面に触れないようにします。
- ディスクをずらして置くと故障の原因となります。

2. 再生を始める

CD ►/❚❚

- 数秒後に 1 曲目から再生します。
- CD-TEXT（テキスト）対応のディスクでは、タイトルが表示されます。

再生中のトラック番号

CD が入っているときに表示されます

再生中の曲の経過時間

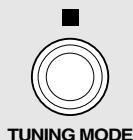
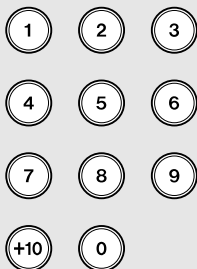
再生を始める／一時停止する

- 押すたびに一時停止と再生が切り換わります。

再生を止める

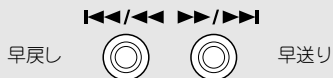
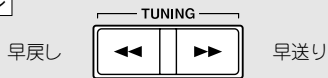
好きな曲から聞く

曲を選ぶ

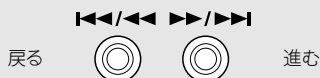
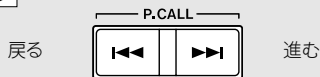
0

数字キーを押す順序は

12曲目なら .... +10、2

30曲目なら .... +10、+10、+10、0

早送り・早戻しする

- 再生中に押しつづけます。手を放したところから再生します。

基本編

曲を飛び越す

- 押した方向に飛び越して選んだ曲の最初から再生します。
- 再生中に ⏮ キーを押すとその曲の最初に戻ります。
- さらに手前の曲にスキップするときは素早く ⏮ キーを押します。
- 停止中でも ⏮ または ⏭ キーを押して曲をスキップすることができます。この場合スキップした後自動的に再生が始まります。

CDを取り出す

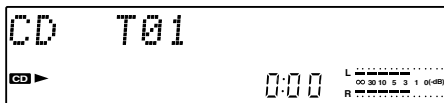
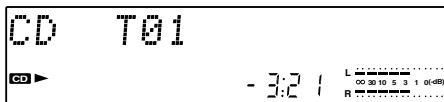
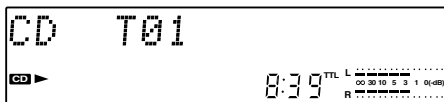
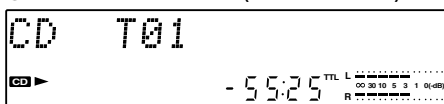
- CDトレイが開きます。（もう一度押すと閉まります。）

CDプレーヤーの時間表示について

TIME DISPLAY（タイム ディスプレイ）キーを押すたびにディスプレイの表示が切り換わります。

リモコンのみ

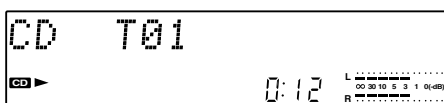
- 1曲リピート再生時やランダム再生時には、①と②のみ表示します。
- 時間表示の合計が1000分以上になると "– – –：– –" と表示されます。

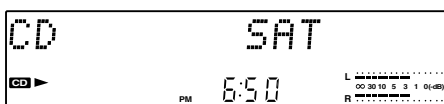
① 再生中の曲の経過時間

② 再生中の曲の残り時間 ("–" 点灯)

③ ディスク全体の経過時間 ("TTL（トータル）" 点灯)

④ ディスク全体の残り時間 ("TTL（トータル）"、"–" 点灯)

CD-TEXT（テキスト）対応ディスクのタイトル表示について

本機では、CD-TEXT（テキスト）対応のディスクを再生するとCDに収録されたディスクタイトルと曲のタイトル（アルファベットや数字の場合）が自動的に表示されます。また、リモコンのDISPLAY（ディスプレイ）キーを押すたびにディスプレイの表示が切り換わります。

リモコンのみ

- CD-TEXT（テキスト）対応のディスクでも表示できないものもあります。ディスクに収録された文字情報が1000文字を超えると "CD TEXT（テキスト） FULL（フル）" と表示されます。

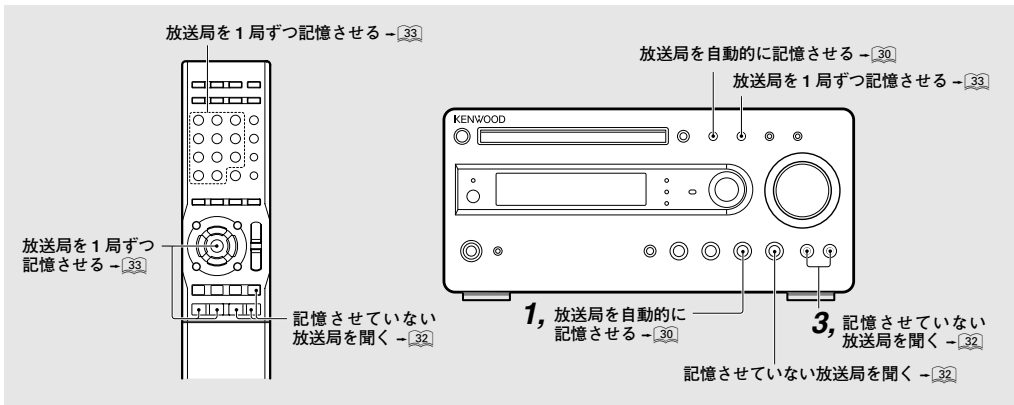
① トラックナンバーを表示

② タイトルを表示

③ 曜日および時計を表示

POINT

- 再生できるCDについては、**"本機で使用できるディスクについて"** をご覧下さい。 →50
- 本機ではファイナライズされていないCD-R/RWは再生できません。
- 本機ではCD-R/RWのデータ信号など、音楽データ以外のデータは再生できません。
- 録音機器の録音特性（ピックアップなど）、使用するCD-R/RWディスクの特性や録音状況などによっては本機でCD-R/RWを再生できないことがあります。

ラジオ放送を聞く

TUNER/BAND キーを押すだけで自動的に電源がオンになり、受信状態になります。

基本編

TUNER

BAND

1. 入力をチューナーにする

放送バンドは TUNER/BAND キーを押すたび、以下のように切り換わります

FM
AM

2. 放送局を記憶させる

放送局を自動的に記憶させる（オートプリセット） 30

お住まいの都道府県名を設定するとお住まいの近くで受信できる放送局が自動的にプリセット（記憶）されます。これらの放送局を受信すると放送局名を（FM 放送のみ）表示します。

- 一度オートプリセットで記憶させておくと、転居される場合や改めて全局記憶させる場合を除き、次回からオートプリセットする必要はありません。

放送局を 1 局ずつ記憶させる（マニュアルプリセット） 33

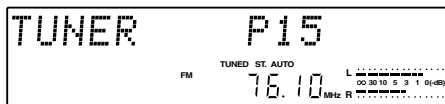
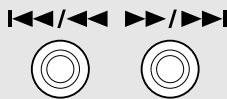
放送局を記憶させなくても選局できます。詳しくは **"記憶させていない放送局を聞く(オート選局、マニュアル選局)"** をお読みください。

3. 放送局を呼び出す（プリセットコール）

I◀◀/◀◀ ▶▶/▶▶I

オートプリセットまたはマニュアルプリセットで放送局を記憶させている場合、I◀◀ または ▶▶I を押して選局します。
押すたびに、記憶されている放送局が順に切り換わります。

受信すると **"TUNED"** が点灯
ステレオ受信時に **"ST."** が点灯

TUNER P15
FM TUNED ST. AUTO 76.10 MHz

周波数の表示

▶▶I を押すと : 01 → 02 → 03 ..... 38 → 39 → 40 → 01 .....
I◀◀ を押すと : 40 → 39 → 38 ..... 03 → 02 → 01 → 40 .....

- リモコンでは、 **P. CALL** I◀◀ または ▶▶I キーあるいは数字キーを押して選局します。押したままにすると約0.5秒間隔で放送局をスキップします。

放送局を自動的に記憶させる（オートプリセット）（エリア別FM放送局名自動表示）

❶ 入力をTUNER（チューナー）にする

❷ MODE（モード）キーを押し |◀◀または ▶▶|キーで"ケンメイ　セッテイ"を選び、ENTER（エンター）キーを押す

❸ |◀◀または ▶▶|キーを押してお住まいの都道府県名を選ぶ

❹ ENTER（エンター）キーを押してオートプリセットを始める

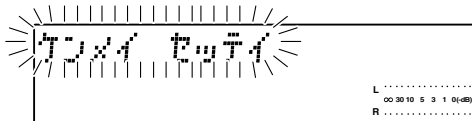
希望の放送局名が表示されないとき

放送地域によっては、周波数が同じでも放送局名が違う場合があります。希望する放送局名が表示されていないときは、リモコンの"P.MODE（モード）"キーを押してリストにある別の放送局名に変えることができます。押すたびに切り換わります。

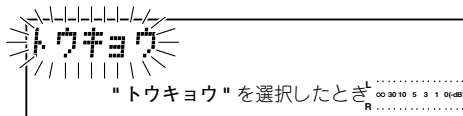
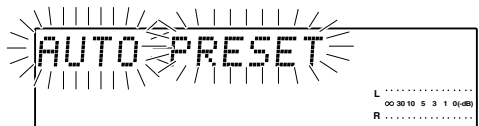
リモコンのみ

ケーブルテレビなどのアンテナを本機に接続した場合は、放送局名が正しく表示されない場合があります。

POINT

オートプリセットはFMおよびAMの放送局をあわせて、最大40局まで登録します。
放送局名表示は"エリア別FM放送局名自動表示リスト"に載っているFM放送局のみに対応しています。 →31

- 現在選択されている都道府県名が表示されます。
- 都道府県名を設定していない場合は、"**ミセッテイ**"と表示されます。

トウキョウ

"**トウキョウ**"を選択したとき

- 都道府県名は、アイウエオ順に並んでいます。
- 都道府県名を設定したときは、"**エリア別FM放送局名自動表示リスト**"に従ってオートプリセットされます。

- **"AUTO（オート） PRESET（プリセット）"** 表示が点滅し、順次FM局をメモリーして、次にAM局をメモリーします。
- リスト以外の放送局は、マニュアルプリセットしてください。 →33
- 受信中の周波数の放送局名が設定されていない場合、および **"TUNED（チューンド）"** が点灯していない場合は、放送局名は表示しません。
- オートプリセットが終わると、一番最初にオートプリセットした放送局名が表示されます。
- 新たにオートプリセットで自動設定すると、今まで記憶していた放送局が新しい記憶内容に変更されます。

基本編

エリア別FM放送局名自動表示リスト

2005年4月現在

地方	放送局	表示名
全国ネット	NHK - FM	NHK - FM
北海道地方	エフエム北海道	AIR - G’
	エフエム・ノースウェーブ	NORTH WAVE
東北地方	エフエム青森	FMアオモリ
	エフエム岩手	FMイワテ
	エフエム仙台	Date fm
	エフエム秋田	エフエムアキタ
	エフエム山形	BOY FMヤマガタ
	エフエム福島	フクシマFM
関東地方	エフエム東京	TOKYO FM
	エフエムジャパン	J - WAVE
	エフエムインターウェーブ	InterFM
	放送大学	ホウソウダイガク
	エフエム群馬	FM GUNMA
	エフエム栃木	RADIO BERRY
	エフエム埼玉	NACK5
	エフエムサウンド千葉	BayFM
	横浜エフエム放送	Fm yokohama
	エフエム富士	FM-FUJI
中部地方	エフエムラジオ新潟	FM-NIIGATA
	長野エフエム放送	FM NAGANO
	北日本放送	KNBラジオ
	富山エフエム放送	FMトヤマ
	エフエム石川	FM ISHIKAWA
	福井エフエム放送	FMフクイ
	静岡エフエム放送	K・MIX
	岐阜FM放送	ギフFM
	新潟県民エフエム	FmPort.com
中部地方	エフエム愛知	FM AICHI
	エフエム名古屋	ZIP - FM
	愛知国際放送	RADIO-i
近畿地方	三重エフエム放送	FMミエ
	エフエム京都	アルファStation
	エフエム滋賀	e - radio
	エフエム大阪	fm osaka
	エフエムはちまるに	FM802
	関西インターメディア	FM CO・CO・LO
	兵庫エフエムラジオ放送	Kiss - FM
中国・四国地方	エフエム岡山	FMオカヤマ
	エフエム山陰	V - air
	広島エフエム放送	ヒロシマFM
	エフエム山口	FMヤマグチ
	エフエム徳島	FMトクシマ
	エフエム香川	FMカガワ
	エフエム愛媛	FMエヒメ
	エフエム高知	FM KOCHI
九州・沖縄地方	エフエム福岡	fm fukuoka
	エフエム九州	CROSS FM
	エフエム佐賀	FMサガ
	エフエム長崎	SMILE-FM
	エフエム中九州	FMK
	エフエム大分	FM OITA
	エフエム宮崎	JOY FM
	エフエム鹿児島	ミューFM
	エフエム沖縄	FM Okinawa
	NHK 第一放送	NHKラジオ1
	AFN オキナワ	AFN オキナワ
	九州国際エフエム	Love FM

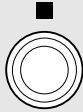
● 放送局名は予告なく変更される場合があります

基本編

記憶させていない放送局を聞く（オート選局、マニュアル選局）

電波の強弱の状態により選局モードを選びます。
電波の状態が良いとき：オート選局モード
電波が弱く雑音が多いとき：マニュアル選局モード

❶ 入力を TUNER にする

❷ TUNING MODE キーを押して、オート選局とマニュアル選局を切り換える

❸ |◀◀ または ▶▶| キーを押して選局する

|◀◀/◀◀ ▶▶/▶▶|

周波数が下がる   周波数が上がる

リモコンのTUNING ◀◀ または ▶▶ キーも使うことができます。

● FM 放送はマニュアル選局モード時、モノラル受信となります。

TUNING MODE キーを押すたびに切り換わります。

"AUTO TUNE": ステレオ受信（"**AUTO**" 点灯）
"MANUAL TUNE":モノラル受信（"**AUTO**" 消灯）

● 通常は **AUTO TUNE**（オート選局、ステレオ受信）を選んでください。

オート選局のとき：

|◀◀ または ▶▶| キーを押すたびに次の放送局を自動的に受信します。

マニュアル選局のとき：

受信するまで繰り返し |◀◀ または ▶▶| キーを押します。あるいは|◀◀ または ▶▶|キーを押し続け、受信したい放送局の周波数になったら放します。

基本編

放送局を１局ずつ記憶させる（マニュアルプリセット）

❶ "記憶させていない放送局を聞く（オート選局、マニュアル選局）" の手順を行なって記憶させたい放送局を受信する →32

❷ 受信中にENTER（エンター）キーを押す

ENTER

（"P ーー " 点滅中に、手順 ❸ へ）

❸ 1 〜 40 までのプリセット番号を選ぶ

または

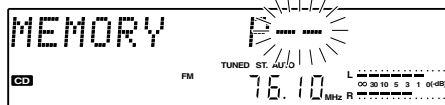
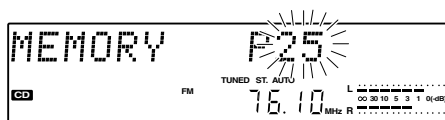
1 2 3
4 5 6
7 8 9
+10 0

数字キーを押す順序は
12 局目なら .... +10、2
20 局目なら .... +10、+10、0

❹ もう一度ENTER（エンター）キーを押す

ENTER

（続けてプリセットする場合は、手順 ❶〜❹ を繰り返す）

"- -" 点滅(20 秒間)

- 最大 40 局まで放送局を記憶できます。

- 同じ番号を重ねて記憶させると新しい設定内容に変更されます。

プリセットした放送局を消す

❶ |◀◀ または ▶▶| キー、またはリモコンの数字キーを使って消去したい放送局を選ぶ

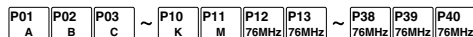
❷ CLEAR（クリア）キーを押す

リモコンのみ

"CLEAR?"（クリア）と約８秒間表示されます。

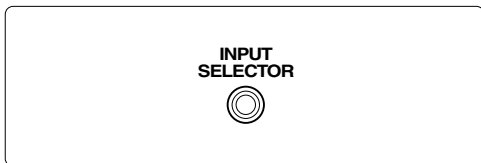
❸ "CLEAR?"（クリア）が表示されている間にENTER（エンター）キーを押す

放送局がプリセットから消去されます。

プリセット11（P11）に記憶させたL局を消去する例：

- 消去されたプリセット番号以降のプリセット番号は前に調整されます。
ただし、プリセットNo. 40 に記録された放送局は消去できません。
- 繰り上がって空いたスペース(P40)には、"FM76.00MHz" が入ります。

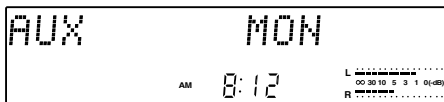
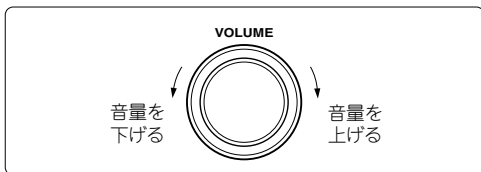
基本編

外部入力ソースを聞く

1 INPUT SELECTOR キーを押す

押すたびに切り換わります。

"PHONO"
"MD/TAPE"
"AUX"

2 接続した機器を再生する

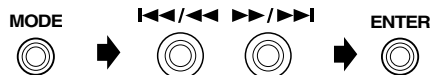
3 音量を調節する

インプットレベルを調整する（PHONO、MD/TAPE、AUX）

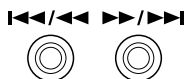
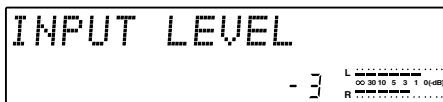
PHONO、MD/TAPE、AUX 入力端子に接続された外部機器からのインプットレベルを調整します。CD と同じくらいの大きさで聞こえるよう必要に応じて調整してください。

❶ INPUT SELECTORキーを押して レベルを調整したいソースを選ぶ

INPUT
SELECTOR

● PHONO、MD/TAPE、AUXそれぞれの入力ごとに、インプットレベルを調整できます。

❷ MODE キーを押し ⏮◀◀ または ▶▶⏭ キーで "INPUT LEVEL" を選び、ENTER キーを押す

❸ ⏮◀◀または▶▶⏭ キーを押して外部入力レベルを選ぶ

⏮◀◀/◀◀ ▶▶/▶▶⏭

INPUT LEVEL
-3
外部入力レベル

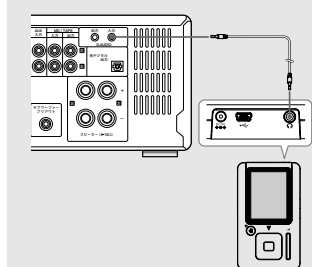
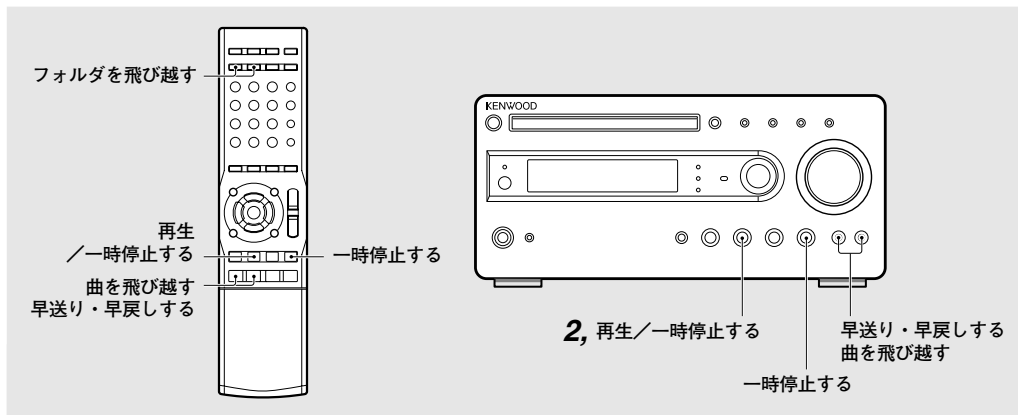
● -3 〜 +5 の範囲で調整できます。
● 操作の途中で 20 秒間放置すると操作は中止されます。

❹ ENTER キー押して確定する

ENTER

ケンウッド製デジタルオーディオプレーヤーからの音を聞く

別売の専用ケーブル（PNC-150）で本機とケンウッド製デジタルオーディオプレーヤーを接続すると、デジタルオーディオプレーヤーを本機やリモコンで操作することができます。

基本編

1. デジタルオーディオプレーヤーを接続する

別売の専用ケーブル（PNC-150）で、本機背面のD.AUDIO（デジタルオーディオ）入力端子とデジタルオーディオプレーヤーのヘッドホン端子とを接続します。

デジタルオーディオプレーヤーを接続するときは､本機をオフにし､デジタルオーディオプレーヤーもオフの状態で接続してください。

- 背面のD.AUDIO（デジタルオーディオ）入力端子はデジタルオーディオプレーヤー専用端子です。対応ポータブル機器以外は接続しないでください。

2. 入力をD.AUDIO（デジタルオーディオ）にする

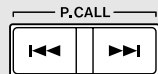
❶ デジタルオーディオプレーヤーをオンにする
❷ D.AUDIO（デジタルオーディオ） ►/II キーを押す

入力がD.AUDIO（デジタルオーディオ）に切り換わりデジタルオーディオプレーヤーの再生が始まります。

再生／一時停止する

D.AUDIO ►/II

- 押すたびに、一時停止と再生が切り換わります。
- ■ STOP キーを押しても、一時停止します。
- D.AUDIO（デジタルオーディオ） ►/II キーを2秒以上押すと、デジタルオーディオプレーヤーがオフになります。

早送り・早戻しする

- 再生中に1秒以上押しつづけます。指を離したところから再生されます。

曲を飛び越す

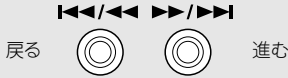
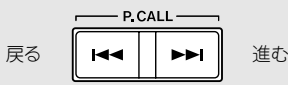
本体

⏮◀◀/◀◀ ▶▶/▶▶⏭

戻る 進む

リモコン

P.CALL

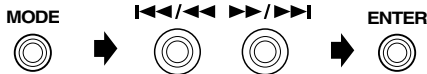
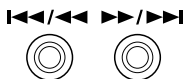
戻る ⏮◀◀ ▶▶⏭ 進む

- 押した方向に飛び越して選んだ曲の最初から再生されます。
- 再生中に⏮◀◀キーを押すと、その曲の最初に戻ります。さらに手前の曲に飛び越すときは素早く⏮◀◀キー を押します。

フォルダを飛び越す

POINT

- 市販のステレオミニプラグケーブルで接続した場合、音を聴くことはできますが本機やリモコンでの操作はできません。
- デジタルオーディオプレーヤーでサウンドモードが設定されていても、本機に接続している間はオフになります。
- デジタルオーディオプレーヤーのボリュームボタンで音量調節はできません。
- デジタルオーディオプレーヤーとの接続コードは、使い終わったら本機背面端子（**D.AUDIO入力**）より抜いてください。

インプットレベルを調整する（D.AUDIO）

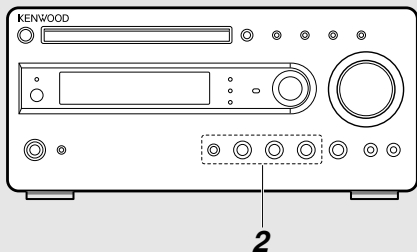
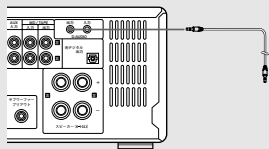
D.AUDIO入力端子に接続されたデジタルオーディオプレーヤーからのインプットレベルを調整します。CDと同じくらいの大きさで聞こえるよう必要に応じて調整してください。

入力レベル

- -3～+5の範囲で調整できます。
- 操作の途中で20秒間放置すると操作は中止されます。
- D.AUDIOのインプットレベルを調整すると、**MD/TAPE出力**端子からの出力レベルも変化します。

基本編

デジタルオーディオプレーヤーに録音する

デジタルオーディオプレーヤー（ダイレクトエンコード機能付き）を接続して、本機で再生した音をデジタルオーディオプレーヤーに録音することができます。

2

1. デジタルオーディオプレーヤーを接続する

市販のステレオミニプラグケーブルで、本機背面の **D.AUDIO** 出力端子とデジタルオーディオプレーヤーの録音入力端子とを接続します。

> デジタルオーディオプレーヤーを接続するときは、本機をオフにし、デジタルオーディオプレーヤーもオフの状態で接続してください。

- 背面の**D.AUDIO出力**端子はデジタルオーディオプレーヤー専用端子です。対応ポータブル機器以外は接続しないでください。

"D.AUDIO"以外の入力ソースを選ぶ

例：CDを選ぶ時

CD ►/II

2. 何を録音するか選ぶ

CD
TUNER（ラジオ）
PHONO、MD/TAPE、AUX（外部入力）

3. ソース（音源）の準備をする

CD： 録音したい曲（トラック）のはじめで再生一時停止にする
TUNER (ラジオ放送)： 選局する
PHONO、MD/TAPE、AUX (外部入力ソース)：
受信や再生などの準備をする ➔ 34
インプットレベルを調整するには ➔ 34

4. 録音の準備をする

● 詳しくはデジタルオーディオプレーヤーの取扱説明書をご覧ください。

5. 録音をはじめる

❶ **デジタルオーディオプレーヤーで録音を始める**

● 詳しくはデジタルオーディオプレーヤーの取扱説明書をご覧ください。

❷ **本機でソース（音源）の再生をはじめる**

POINT

● デジタルオーディオプレーヤーとの接続コードは、使い終わったら本機背面端子（**D.AUDIO出力**（デジタルオーディオ））より抜いてください。
● 本機の**D.AUDIO 出力**（デジタルオーディオ）端子からは、アナログ信号が出力されます。

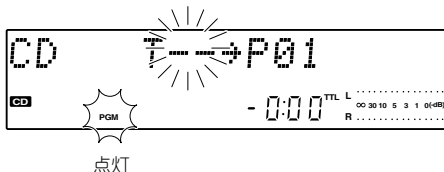
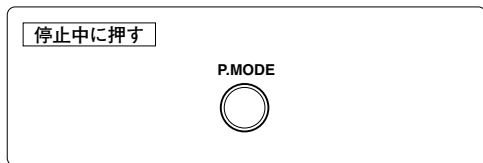
CDのいろいろな再生

曲順を並べ替えて聞く（プログラム再生）

好きな曲を好きな順番にプログラムして聞くことができます（最大32曲）。リモコンを使って操作します。

入力切換を "CD" にする。

1 "PGM" モードを選ぶ

点灯

2 聞きたい順に曲を選ぶ

❶ 曲（トラック番号）を選ぶ

1 2 3
4 5 6
7 8 9
+10 0

（20秒以内に手順❷へ）

❷ 確定する

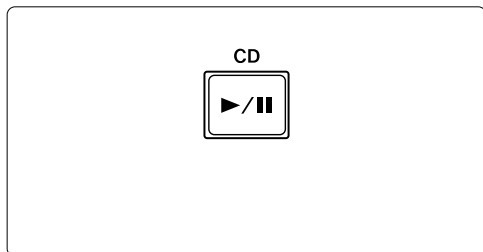
（2曲以上選ぶときは手順❶、❷を繰り返す）

数字キーを押す順序は

12曲目なら .... +10、2

30曲目なら .... +10、+10、+10、0

- 32曲までプログラムできます。"**PGM FULL**" と表示されると、それ以上プログラムできません。
- 間違えたときは **CLEAR** キーを押してから選び直します。
- 選んだ曲番号は、プログラムの最後に追加されます。
- CDのプログラム時間の合計が1000分以上になると時間表示が "**– – –：– –**" になります。

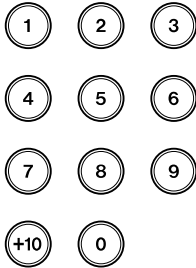
3 再生する

- プログラムで選んだ順（P-番号順）に再生します。
- 再生中に ⏮ キーを1回押すと、再生中の曲を最初から再生します。
  前の曲へ飛び越すときは、⏮ キーを2回押します。
- 再生中に ⏭ キーを1回押すと次の曲へ飛び越して再生します。

応用編

曲を追加するには

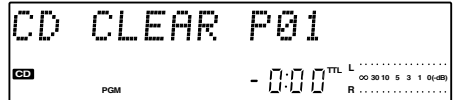
❶ 数字キーで追加したい曲番号を選ぶ

停止中に押す

1 2 3
4 5 6
7 8 9
+10 0

❷ ENTER キーを押す

数字キーを押す順序は
12曲目なら .... +10、2
30曲目なら .... +10、+10、+10、0

- 最大32曲までプログラムできます。"**PGM FULL**"と表示されると、それ以上プログラムできません。
- 間違えたときは**CLEAR**キーを押してから選び直します。
- 選んだ曲番号はプログラムの最後に追加されます。

プログラムした曲を取り消すには

P-01が取り消されたとき

- 押すたびに最後の曲から1曲ずつ消えていきます。

プログラムを解除するには

POINT

電源をオフにしたり、CDトレイを開けるとプログラムモードを解除します。このとき、設定したプログラム内容は解除されます。

繰り返し聞く （リピート再生）

お気に入りの曲やディスクを繰り返し聞くことができます。リモコンを使って操作します。

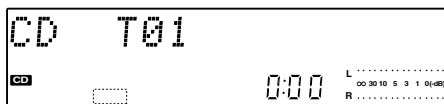
入力切換を "CD" にする。

1曲を繰り返し聞くとき

❶ "PGM"（プログラム）表示の消灯を確かめる

❷ 繰り返したい曲を再生する

CD
►/II

❸ "REPEAT" と "ONE" を点灯させる

REPEAT

● "PGM"（プログラム）表示が点灯しているときは、停止中に P.MODE（モード）キーを押して消灯させてください。

消灯を確かめる

REPEAT（リピート）キーを押すたび、以下のように切り換わります。

① "REPEAT" と "ONE" が点灯(1曲リピート)
② "REPEAT" が点灯(全曲リピート)
③ 消灯 .... リピート解除

全曲を繰り返し聞くとき

❶ "PGM"（プログラム）表示の消灯を確かめる

❷ "REPEAT" を点灯させる

REPEAT

❸ 再生する

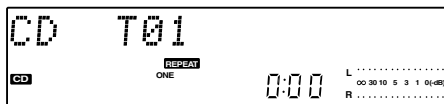
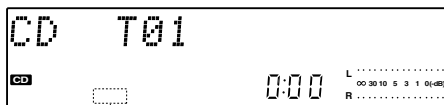
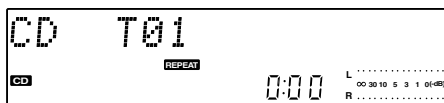
CD
►/II

● "PGM"（プログラム）表示が点灯しているときは、停止中に P.MODE（モード）キーを押して消灯させてください。

消灯を確かめる

REPEAT（リピート）キーを押すたび、以下のように切り換わります。

① "REPEAT" と "ONE" が点灯(1曲リピート)
② "REPEAT" が点灯 (全曲リピート)
③ 消灯 .... リピート解除

応用編

選んだ曲だけを繰り返し聞くとき

❶ "曲順を並べ替えて聞く（プログラム再生）"の手順 ❶ と ❷ を行い、聞きたい曲をプログラムする

→ 39

❷ "REPEAT" を点灯させる

REPEAT

❸ 再生する

CD

►/II

REPEAT（リピート）キーを押すたび、以下のように切り換わります。

① "REPEAT" が点灯(全曲リピート)

② 消灯 .... リピート解除

- 選んだ曲全部を繰り返します。

繰り返し再生をやめるには

REPEAT（リピート）キーをリピートモードが解除になるまで押します。

- "REPEAT（リピート）" 表示が消灯し、CDプレーヤーのモードにしたがった再生に戻ります。

曲順を順不同に楽しむ（ランダム再生）

毎回曲がランダム（無作為）に選択されるので、飽きることなく楽しめます。リモコンを使って操作します。

入力切換を "CD" にする。

❶ "PGM（プログラム）" 表示の消灯を確かめる

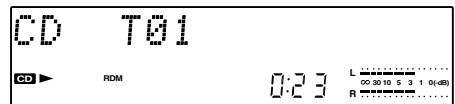
- "PGM（プログラム）" 表示が点灯しているときは、停止中に **P.MODE（モード）** キーを押して消灯させてください。

❷ RANDOM（ランダム） キーを押す

RANDOM

RANDOM（ランダム）キーを押すたび、以下のように切り換わります。

① "RDM（ランダム）" 点灯（ランダム再生する）

② "RDM（ランダム）" 消灯（通常の再生）

- 全曲の再生が１回終わると停止します。
- **REPEAT（リピート）** キーを押すとランダム再生が繰り返されます。

曲の途中で別の曲を選ぶには

- I◄◄ キーを押すと、再生している曲の初めに戻ります。

ランダム再生をやめるには

"RDM（ランダム）" 表示を消灯させる

RANDOM

- "RDM（ランダム）" 表示が消灯し、再生中の曲から曲番順の再生になります。

応用編

タイマーを使う

おやすみタイマー（SLEEP）

設定した時間が過ぎると自動的に電源が切れます。

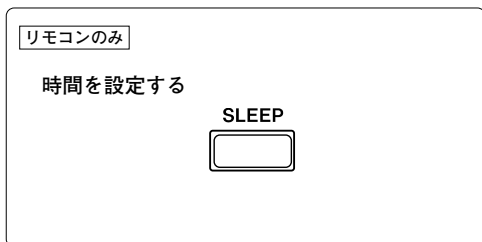
タイマー再生（PROG. 1、PROG. 2）→44

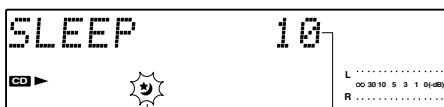
設定した時間帯に選んだソースを再生します。

AI タイマー再生（PROG. 1、PROG. 2）→44

タイマー再生開始後、徐々に音量が大きくなり、設定した音量まで上がります。

おやすみタイマー（SLEEP）

何分後に電源をオフ（スタンバイ）するか設定します。

- セットした時間が過ぎると､自動的に電源がオフになります。
- 1 回押すごとに 10 分ずつ増えていきます。最大 90 分まで設定できます。

10 → 20 → 30 ..... 70 → 80 → 90 → 解除 → 10 → 20 .....

おやすみタイマー表示が点灯　　セットする時間

- おやすみタイマーの動作中に SLEEP キーを押すと残り時間の確認ができます。

解除するには

電源をオフ（スタンバイ）にするか、または SLEEP キーを解除になるまで繰り返し押す。

プログラムタイマーを設定する（PROG. TIMER）

PROG. 1 、PROG. 2 には動作する時間帯と内容を予約しておき、必要に応じて、働かせるか、働かせないかを選べます。

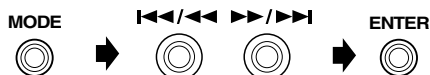
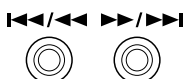
時刻合わせを済ませてから、タイマーを設定してください。 →18
" 接続のしかた " を参照して、関連機器との接続を済ませてください。 →10 ～ →12

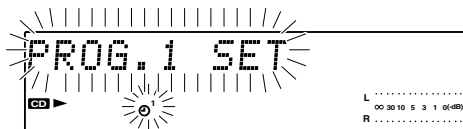
1 聞くための準備をする

CD を聞く	ラジオを聞く	外部入力ソースを聞く
CD を入れる （通常再生だけできます。）	放送局をプリセットしておく。→30 →33	PHONO、MD/TAPE、AUX入力端子に接続した機器のタイマー設定をする。

- タイマー予約は、PROG. 1 と PROG. 2 の２系統を、同時に予約できます。
- PROG. 1 と PROG. 2 の働く時間帯が重ならないように、１分以上の間隔をあけて予約してください。

2 プログラムタイマーの番号を設定する

❶ MODE キーを押し ⏮ または ⏭ キーで "TIMER SET" を選び、ENTER キーを押す

❷ ⏮ または ⏭ キーを押して "PROG.1 SET" または "PROG.2 SET" を選ぶ

押すたびに切り換わります。

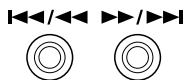
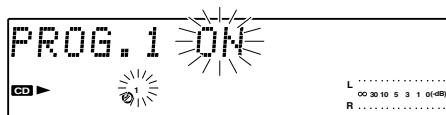
"PROG.1 SET"：⏲ 1 点灯
"PROG.2 SET"：⏲ 2 点灯

- 以前設定したプログラムタイマーの内容を表示します。（設定を変更しない場合は、ディスクの準備、音量の調節をしてから ENTER キーを押してください。）
- すでに設定が済んでいるタイマーを選んだ場合は、設定内容が上書きされます。

❸ ENTER キーを押して確定する

応用編

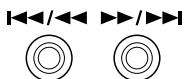
3 プログラムタイマーのON/OFFを選ぶ

❶ ⏮◀◀ または ▶▶⏭ キーを押して "PROG.1 ON" または "PROG.1 OFF" を選ぶ

⏮◀◀/◀◀ ▶▶/▶▶⏭

❷ ENTER キーを押して確定する

ENTER

● OFF を選ぶと元の状態に戻ります。

4 タイマー実行曜日を選ぶ

❶ ⏮◀◀または▶▶⏭ キーを押してタイマー実行曜日を選ぶ

⏮◀◀/◀◀ ▶▶/▶▶⏭

❷ ENTER キーを押して確定する

ENTER

押すたびに切り換わります。

"EVERYDAY"：毎日
"MONDAY"：月曜日
"TUESDAY"：火曜日
"WEDNESDAY"：水曜日
"THURSDAY"：木曜日
"FRIDAY"：金曜日
"SATURDAY"：土曜日
"SUNDAY"：日曜日

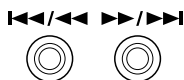
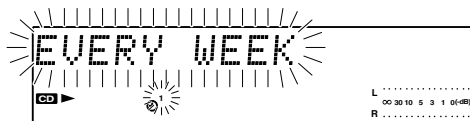
1 回動作させるか、または毎週動作させるかを選べます。
手順 5 へ

"MON-FRI"：月曜日ー金曜日
"TUE-SAT"：火曜日ー土曜日
"SAT-SUN"：土曜日ー日曜日
} 解除するまで動作が続くタイマー

● **解除するまで動作が続くタイマー**を選んだときは、手順 6 へ進みます。 →46

5 EVERY WEEK または ONE TIME を選ぶ

❶ ⏮◀◀または▶▶⏭ キーを押して"EVERY WEEK"または "ONE TIME" を選ぶ

⏮◀◀/◀◀ ▶▶/▶▶⏭

❷ ENTER キーを押して確定する

ENTER

押すたびに切り換わります。

"EVERY WEEK"：毎週タイマーが実行されます。
"ONE TIME"：タイマーが 1 度実行されると、タイマーオフ状態になります。

応用編

次ページに続く

6 オン時刻を設定してからオフ時刻を設定する

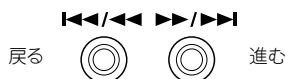
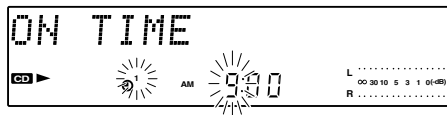
❶ ⏮ または ⏭ キーを押して時刻を合わせる

⏮/◀◀　▶▶/⏭

戻る　 　進む

❷ ENTER キーを押して確定する

ENTER

ON TIME
CD ▶　AM 9:00

- オン時刻とオフ時刻ともに❶、❷の手順を行い、"時"を入力した後、同じ手順で"分"を入力します。
- 間違えたときは、MODE キーを押して、手順❷からやり直してください。

7 希望の予約を設定する

❶ モードを選ぶ

⏮ または ⏭ キーを押して "PLAY" または "AI PLAY" を選び、ENTER キーを押す

⏮/◀◀　▶▶/⏭　ENTER

押すたびに切り換わります。

"PLAY"： タイマー再生
"AI PLAY"： だんだん音が大きくなるタイマー再生

❷ 音量を調整する

⏮ または ⏭ キーを押して音量を調整し、ENTER キーを押す

⏮/◀◀　▶▶/⏭　ENTER

- "PLAY" モード：調整した音量で再生されます。
- "AI PLAY"モード：タイマーの再生が始まると調整した音量まで徐々に上がります。

❸ 入力ソースを選ぶ

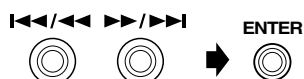
⏮ または ⏭ キーを押して聞くソースを選び、ENTER キーを押す

⏮/◀◀　▶▶/⏭　ENTER

押すたびに切り換わります。

"PLAY TUNER"（ラジオ）
"PLAY CD"
"PLAY PHONO"
"PLAY MD/TAPE"
"PLAY AUX"

❹ 放送局を選ぶ（TUNER 時のみ）

⏮ または ⏭ キーを押してプリセットチャンネルを選び、ENTER キーを押す

⏮/◀◀　▶▶/⏭　ENTER

- **"ENTER"** キーを押して設定が終了すると **"COMPLETE"** と表示します。

POINT　予約内容を変更したいときは、タイマー予約を始めからやり直してください。

応用編

8 電源をオフ（スタンバイ）にする

- スタンバイ状態になると **STANDBY/TIMER** 表示灯が緑色に点灯します。
- 電源がオフ中に**STANDBY/TIMER** 表示が緑色に点滅しているときは、時刻合わせをしてください。 →18

タイマーの解除と再設定

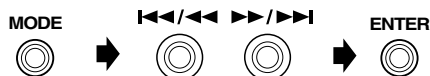
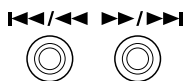
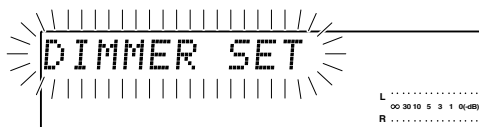
一度設定したタイマーの解除と再設定を、リモコンを使って簡単に切り換えることができます。

電源がオンのとき、TIMER キーを押す

TIMER

押すたびに切り換わります。

1： **PROG.1** のタイマーを動作させます。
2： **PROG.2** のタイマーを動作させます。
1, 2： **PROG.1** と **PROG.2** のタイマーを動作させます。
タイマー解除（タイマー表示消灯）：
設定されているタイマーを解除します。

- タイマーの設定内容は解除しても残ります。
- 停電や電源プラグをコンセントから抜き差しすると、**STANDBY/TIMER** インジケーターが緑色の点滅になります。このような場合は、もう一度時刻を合わせてから設定をやり直してください。

表示部の明るさを設定する

押すたびに切り換わります。

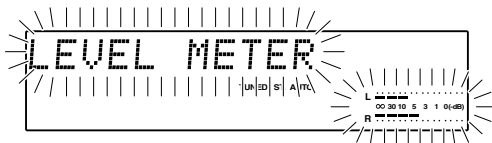
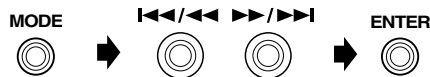
"DIMMER OFF"： 通常の明るさ
"DIMMER 1"： 表示部の輝度を下げる
"DIMMER 2"： 表示部の輝度を下げる、キーイルミネーション消灯、サウンドインジケーター消灯
"DIMMER 3"： キーイルミネーション消灯

POINT ルームイコライザーの測定中は、表示部の明るさを切り換えることはできません。 →21

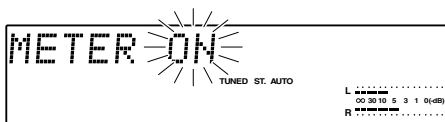
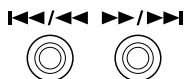
応用編

レベルメーターのON/OFFを切り換える

1 LEVEL METERモードにする

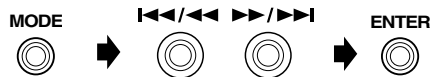
MODEキーを押し |◀◀ または ▶▶| キーで"LEVEL METER"を選び、ENTERキーを押す

- 表示部およびメーター部が点滅します。

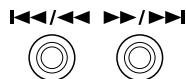
2 表示のON/OFFを切り換える

❶ |◀◀ または ▶▶| キーを押してON/OFFを切り換える

❷ ENTERキーを押して確定する

- |◀◀ または ▶▶| キーを押すたび、表示が切り換わり"ON"または"OFF"が点滅します。

オートパワーセーブ機能について(Auto Power Save = A.P.S.)

電源がオンで、CDが停止状態のとき、約30分放置すると自動的に電源がオフ（スタンバイ）になる機能です。電源を切り忘れたときなどに便利です。この機能は次の操作でオン／オフを選べます。

❶ MODEキーを押し |◀◀ または ▶▶| キーで"A.P.S. SET"を選び、ENTERキーを押す

❷ |◀◀ または ▶▶| キーを押して"A.P.S. ON"または"A.P.S. OFF"を選ぶ

❸ ENTERキーを押して確定する

- 入力切換がTUNER、PHONO、MD/TAPE、AUX、D.AUDIOのときは、音量がゼロまたはMUTEがオンのときに限りオートパワーセーブ機能が働きます。

応用編

知っておきましょう

結露にご注意

本機と外気の温度差が大きいと、本機に水滴(露)が付くことがあります。この現象がおきますと、本機が正常に動作しないことがあります。このようなときには、数時間放置し、乾燥させてからご使用ください。気温差の大きいところへ持ち込んだときや、湿気の多い部屋などでは、特に結露にご注意ください。

メンテナンス

お手入れのしかた

前面パネル、ケースなどが汚れたときは、柔らかい布でからぶきします。シンナー、ベンジン、アルコールなどは変色の原因になることがありますので、ご使用にならないでください。

接点復活剤について

接点復活剤は、故障の原因となることがありますので、ご使用にならないでください。特にオイルを含んだ接点復活剤は、プラスチック部品を変形させることがあります。

ディスクの取り扱いかた

ディスク取り扱上のご注意

再生面にふれないように持ってください。

再生面はもちろん、レーベル面にも紙やテープなどを貼らないでください。

お手入れ

ディスクに指紋や汚れがついたときは、やわらかい布などで、放射状に軽くふきとってください。

保存

長い間使用しないときは、本機から取り出し、ケースに入れて保管してください。

本機で使用できるディスクについて

CD (12cm、8cm)、CD-R、CD-RW および CD-G/CD-EG (CDグラフィックス)、CD-EXTRAの音声部分が再生できます。

CDディスクのご注意

レーベル面に COMPACT disc のマークが入ったディスクをご使用ください。このマークが入っていないディスクは正しく再生できない場合があります。

異常なディスクは使用しない

再生中、ディスクはプレーヤー内で高速回転しています。ひびや欠けのあるディスク、大きくそったディスク等は絶対に使用しないでください。プレーヤーの破損、故障の原因になります。
円形以外の形をしたディスクは、故障の原因になりますので、ご使用にならないでください。

ディスクアクセサリーについて

音質向上やディスク保護を目的としたディスク用アクセサリー(スタビライザー、保護シート、保護リングなど)およびレンズクリーナーは、故障の原因になりますので、ご使用にならないでください。

レンタルディスク、中古ディスクの取り扱いについて

図の様にクランピングエリアにシールが貼られているディスクはご使用にならないでください。

クランピングエリア

シールから糊がはみ出したり金属板が貼られている場合があり、ディスクが取り出せなくなる恐れがあります。
シール類をはがした後、糊がレーベル面に残っていると、故障の原因になります。糊のベタつきがある場合、必ずふき取ってからご使用ください。

CD-R/CD-RWディスクについて

レーベル面に印刷可能なCD-R/CD-RWを使用すると、レーベル面が貼り付いてディスクの取り出しができないことがあります。本機の故障の原因となるため、このようなディスクは使用しないでください。

輸送時または移動時のご注意

本機を輸送するときや、移動するときは、下記の操作を行ってください。

❶ CD を取り出します

❷ CD ▶/❚❚ キーを押す

CD NO DISC

❸ しばらく待って、ディスプレイ部が図の表示になったことを確かめてください

❹ 数秒間待って、電源をオフにします

メモリーバックアップ

電源プラグをコンセントから抜いた後、約 1 日バックアップされるメモリーの内容：

アンプ部：
電源の状態
インプットセレクター
ボリューム値
サウンドプリセット
PHONO(フォノ)、MD/TAPE(テープ)、AUX、D.AUDIO(デジタルオーディオ)の
　インプットレベル値
オートパワーセーブの設定
サウンドモード
ルームイコライザーの設定
マニュアルイコライザーの設定
DIMMER の設定
チューナー部：
受信バンド
周波数
プリセット放送局
AUTO(オート)/MONO(モノ)の設定
タイマーの設定内容

故障かな？と思ったら...

調子が悪いと故障と考えがちですが、サービスに依頼する前に、症状にあわせて一度チェックしてみてください。

マイコンをリセットするには

電源がオンのときの接続コードの抜き差しや、あるいは外部からの要因により、マイコンが誤動作（操作できない、表示部の誤表示など）することがあります。この場合、次の手順をお試しください。
マイコンがリセットされます。

- リセットにより、各種の記憶内容は消滅し、工場出荷時の状態となります。ご了承ください。
- CDのディスクが入ったままリセットすると自動的に排出されます。ディスクを取り出してからCDトレイを閉じてください。

電源プラグをコンセントから抜き、⏻キーを押しながら、差し込み直す。

マイコンをリセットすると下記のディスプレイが表示されます。

INITIALIZE

アンプ部・スピーカー部

症　状	処　置
音が出ない。	● "**接続のしかた**" をみて正しく接続し直す。 →10 ● 音量を上げる。 →20 ● **MUTE**をオフ（解除）にする。 →20 ● ヘッドホンが差し込まれているときはプラグを抜く →20
"STANDBY/TIMER" の表示が赤く点滅し、音が出ない。	● スピーカーコードがショートしている。電源コードを抜いてスピーカーコードを接続し直す。
"STANDBY/TIMER" の表示が緑色に点滅する。	● 現在時刻をもう一度合わせる。 →18 ● タイマーのオン時刻とオフ時刻を設定する。 →44
ヘッドホンから音がでない。	● ヘッドホンプラグが正しく差し込まれているか確認する。 →20 ● 音量を上げる。 →20 ● **MUTE**をオフ（解除）にする。 →20
スピーカーの片側から音が出ない。	● "**接続のしかた**" をみて正しく接続し直す。 →10 ● 左右のバランスを調整する。 →20
入力切り換えキーを PHONO にするとブーンという音が出る。	● オーディオコードを **PHONO 入力**端子にしっかりと差し込む。 →12 ● 信号用アース線を背面の ⏚ マークの端子に接続する。 →12
時刻表示がある時間で止まったまま点滅している。	● 現在時刻をもう一度合わせる。 →18
タイマーが作動しない。	● "**時刻合わせ**" をみて現在時刻を合わせる。 →18 ● タイマーのオン時刻とオフ時刻を設定する。 →44

チューナー部

症　状	処　置
放送局が受信できない。	● アンテナを接続する。 →11 →12 ● 放送バンドを合わせる。 →29 ● 受信したい放送局の周波数に合わせる。 →29
雑音が入る。	● 外部アンテナを道路から離して設置する。 ● 電気器具の電源を切ってみる。 ● テレビから離す。
オートプリセットしたあと、P.CALL キーを押しても受信できない。	● もう一度オートプリセットする。 →30 ● 受信できる周波数の放送局をマニュアルプリセットする。 →33

知識編

CD プレーヤー部

症　状	処　置
CD を入れても再生できない。	● ラベル面を上にして、正しく入れる。 →26 ● "ディスク取扱上のご注意" を参照し、ディスクを清掃する。 →50 ● "結露にご注意" を参照し、露を蒸発させる。 →50
音声が出ない。	● CD ▶/II キーを押す。 ● "ディスク取扱上のご注意" を参照し、ディスクを清掃する。 →50
音とびがする。	● "ディスク取扱上のご注意" を参照し、ディスクを清掃する。 →50 ● 震動のない場所に設置する。

リモコン部

症　状	処　置
リモコンで操作できない。	● 新しい電池に入れ換える。 →17 ● 操作範囲内で操作する。 →17

デジタルオーディオプレーヤーとの接続

症　状	処　置
デジタルオーディオリンク対応プレーヤーの操作ができない。	● 別売の専用ケーブル（PNC-150）が正しく差し込まれているか確認する。

メッセージ表示の一覧

ディスプレイ表示	意　味
CAN'T SETUP	● ROOM EQ 用マイクが接続されていない。 またはヘッドホンが接続されている。
CD NO DISC	● CD が入っていない。
CD TEXT FULL	● 1K バイト以上のテキスト情報がある CD TEXT のテキスト情報を表示しようとしている。
CHECK DISC	● CD で TOC* の内容が読み取れない。ファイナライズされていない CD-R を入れている。CD を確認する。 →50
PGM FULL	● CD のプログラムで 33 曲目を選択しようとしている。 →39
R.EQ ERROR1	● 測定しようとしている部屋のノイズが大きいため測定できません。 →21
R.EQ ERROR2	● マイクに信号の入力がないため測定できません。 →21
TRAY OPEN	● CD トレイが開いている。

知識編

保証とアフターサービス（よくお読みください）

保証書 (別途添付)

製品には保証書が（別途）添付されております。保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめの上、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保証期間

保証期間は、お買い上げの日より1年間です。
電池や、一部の消耗部品の交換、ならびに落下、水没など、不適切なご使用による故障の場合は、保証期間内でも有料となります。詳しくは保証書をご覧ください。

修理に関するご相談ならびにご不明な点は

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店または最寄りのケンウッドサービス窓口にお問い合わせください。
（お問い合わせ先は、「ケンウッドサービス網」をご覧ください。）

補修用性能部品の最低保有期間

当社は、このステレオの補修用性能部品を、製造打ち切り後8年保有しております。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

シリアル番号について

システム商品の各機器にシリアル番号が付けられておりますが、保証書にはシステム管理用として、別のシリアル番号が印刷されています。
付属の保証書で、お買い上げのシステム機器（基本システム）すべての保証修理が受けられます。

修理を依頼される時は

「故障かな？と思ったら」に従って調べていただき、なお異常がある時は、製品の使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店または最寄りのケンウッドサービス窓口にお問い合わせください。

この製品の故障・誤動作・不具合などによって発生した次に掲げる損害などの付随的損害の補償につきましては、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

- お客様または第三者がテープ・ディスクなどへ記録された内容の損害
- 録音・再生などお客様または第三者が製品利用の機会を逸したことによる損害

保証期間中は

保証期間中は保証書の規定に従って、お買い上げの販売店またはケンウッドのサービス窓口が修理をさせていただきます。
修理に際しましては保証書をご提示ください。

出張修理／持込修理

「出張修理」、「持込修理」のどちらが適用されるかは機種によって異なります。保証書の記載をご確認ください。出張修理を依頼される時は、次のことをお知らせください。

- 製品名
- 製造番号（Serial No.）
- お買い上げ年月日
- 故障の症状（できるだけ具体的に）
- ご住所（ご近所の目印等も併せてお知らせください）
- お名前、電話番号、訪問ご希望日

保証期間が過ぎているときは

保証期間が過ぎている時は、修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理料金の仕組み

（有料修理の場合は、次の料金をいただきます）

- 技術料：故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等の設備費や、一般管理費などが含まれています。
- 部品代：修理に使用した部品の代金です。その他、修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
- 出張料：製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。
- 送　料：郵便、宅配便などの料金です。保証期間内に無償修理などを行うにあたって、お客様に負担していただく場合があります。

お買上げ店名

電話（　　　　）　　　-

ケンウッドサービス網

2005年8月現在

製品に対するお問合せ、アフターサービスについてのお申し込みは、お買い上げの販売店または最寄りのケンウッドサービス窓口にお申しつけください。

北海道

札幌サービスセンター	〒007-0834	札幌市東区北34条東14-1-23	☎(011) 743-7740

東北

仙台サービスセンター	〒984-0042	仙台市若林区大和町5-32-12(サンライズ大和)	☎(022) 284-1171
盛岡サービスステーション	〒020-0124	盛岡市厨川4-5-11	☎(019) 646-2311

関東・信越

さいたまサービスセンター	〒331-0812	さいたま市北区宮原町1-311-1(加茂宮ビル1F)	☎(048) 664-3611
千葉サービスセンター	〒277-0081	柏市富里1-2-1	☎(04) 7163-1441
横浜サービスセンター	〒226-8525	横浜市緑区白山1-16-2	☎(045) 939-6242
東京サービスステーション	〒169-0073	新宿区百人町2-16-15(MYビル1F)	☎(03) 3363-1650
新潟サービスステーション	〒950-0923	新潟市姥ケ山1-5-37	☎(025) 287-7736

中部・甲州

名古屋サービスセンター	〒462-0861	名古屋市北区辻本通1-11	☎(052) 917-2550
静岡サービスステーション	〒420-0816	静岡市沓谷5-61-1	☎(054) 262-8700
松本サービスステーション	〒390-0832	松本市南松本2-7-30(昭和ビル2F)	☎(0263) 26-7331
金沢サービスステーション	〒920-0036	金沢市元菊町21-87(第2濱伍ビル1F)	☎(076) 265-5045

近畿・四国

大阪サービスセンター	〒532-0034	大阪市淀川区野中北2-1-22	☎(06) 6394-8075
高松サービスステーション	〒760-0068	高松市松島町3-1	☎(087) 835-2413

中国

広島サービスセンター	〒731-0137	広島市安佐南区山本1-8-23	☎(082) 832-2210

九州

福岡サービスセンター	〒815-0035	福岡市南区向野2-8-18	☎(092) 551-9755
鹿児島サービスステーション	〒890-0063	鹿児島市鴨池2-15-10(パレス鴨池1F)	☎(099) 251-6347
沖縄サービスステーション	〒901-2132	浦添市伊祖1-5-2	☎(098) 874-9010

カスタマーサポートセンター　〒226-8525　横浜市緑区白山1-16-2
☎ (0570) 010-114（ナビダイヤル）　携帯電話・PHSでのご利用は　☎ (045) 933-5133
FAX (045) 933-5553

- ケンウッドサービス窓口　営業時間のご案内
  月曜日～金曜日（土曜、日曜、祭日及び当社休日を除く）午前10時から午後6時まで
- カスタマーサポートセンター　営業時間のご案内
  月曜日～金曜日（土曜、日曜、祭日及び当社休日を除く）午前9時から午後6時まで

（各サービス窓口の名称、所在地、電話番号は変更になることがありますのでご了承ください）

知識編

定　格

[オーディオ部]

実用最大出力 .... 30W+30W（JEITA 6 Ω）

全高調波ひずみ率

.... 0.003%（AUX IN, 1kHz, 15W, 6 Ω）

トーンコントロール特性

BASS（TURN OVER 100Hz）..... ±3.1dB (at 100Hz)
（TURN OVER 150Hz）..... ±5.1dB (at 100Hz)
（TURN OVER 200Hz）..... ±5.7dB (at 100Hz)
TREBLE（TURN OVER 5kHz）... ±5.7dB (at 10kHz)
（TURN OVER 7kHz）... ±5.1dB (at 10kHz)
（TURN OVER 10kHz）. ±3.1dB (at 10kHz)

グラフィックイコライザー特性

調整中心周波数 63Hz, 160Hz, 400Hz, 1kHz, 2.5kHz, 6.3kHz, 16kHz
可変範囲 .... ±8dB

D-Bass (+10) .... +16dB (40Hz, Vol. 60)

入力端子（感度／インピーダンス）

PHONO .... 8.0 mV / 31 kΩ
LINE (AUX, MD/TAPE) .... 400 mV / 30 kΩ
D.AUDIO .... 200 mV / 100 kΩ

出力端子（レベル／インピーダンス）

MD/TAPE REC OUT .... 400 mV / 200 Ω
SUBWOOFER PREOUT .... 2 V / 620 Ω
D.AUDIO .... 300 mV / 1 kΩ

[デジタル部]

光デジタル出力 .... -21〜-15 dBm (波長 660 nm)

[チューナー部]

FMチューナー部

受信周波数範囲 .... 76 MHz〜90 MHz
アンテナインピーダンス .... 75 Ω不平衡

AMチューナー部

受信周波数範囲 .... 531 kHz〜1,629 kHz

[CDプレーヤー部]

読み取り方式 .... 非接触光学式読み取り（半導体レーザー）

D/Aコンバーター .... 1 ビット

オーバーサンプリング .... 8 fs (352.8 kHz)

周波数特性 (JEITA)

.... 20 Hz〜20 kHz (MD/TAPE REC OUT)

[電源部・その他]

電源電圧・電源周波数 .... AC 100 V, 50 Hz/ 60 Hz

待機時消費電力 0.2W以下

定格消費電力（電気用品安全法に基づく表示） .... 70 W

最大外形寸法 .... 幅　270 mm
高さ　126 mm
奥行　368 mm

質量（重量） .... 5.8 kg(正味)

本製品は「JIS C61000-3-2適合品」です。

POINT

- これらの定格およびデザインは、技術開発に伴い予告なく変更することがあります。
- 極端に寒い（水が凍るような）場所では十分な性能が発揮できないことがあります。

KENWOOD

株式会社 ケンウッド

〒192-8525　東京都八王子市石川町 2967-3

商品および商品の取り扱いに関するお問い合わせは、カスタマーサポートセンターをご利用ください。

電話 （0570）010-114（ナビダイヤル）　携帯電話・PHSでのご利用は (045) 933-5133

FAX （045）933-5553

住所 〒226-8525　横浜市緑区白山1-16-2

アフターサービスについては、お買い上げの販売店か、または、55ページの「ケンウッドサービス網」をご参照のうえ、最寄りのサービス窓口にご相談ください。